

# 画像サイズ変更ツール (ImageSizeChange)

マニュアル

Ver.1.03

KHFactory

## 内容

1	はじめに .....	4
2	機能概要 .....	5
3	インストール・ライセンスについて .....	6
3.1	インストール・アンインストール .....	6
3.2	ライセンス .....	7
3.2.1	ライセンスについて .....	7
3.2.2	正規版について .....	7
3.2.3	試供品（試供モード）について .....	7
3.2.4	ライセンス認証方法 .....	7
3.3	複数実行対応 .....	8
3.4	バージョンアップ .....	8
3.5	対応 OS .....	8
4	使用方法 .....	9
	基本的な使用方法を以下に記載する。細かい機能や設定については「5 画面説明」を参照。 .....	9
4.1	サイズ指定での変換 .....	9
4.2	倍率指定での変換 .....	10
4.3	ファイルサイズ指定での変換 .....	11
4.4	複合変換 .....	12
4.5	サイズ変換の種類による変換結果 .....	13
4.6	画像の切り取り（v1.01 以降） .....	15
4.7	画像の編集（v1.03 以降） .....	16
5	画面説明 .....	19
5.1	変換（メイン）画面 .....	19
5.1.1	変換（メイン）画面のコンテキストメニュー（v1.03 以降） .....	25
5.1.2	切り取り範囲画面 .....	26
5.1.2.1	切り取り範囲画面のコンテキストメニュー .....	30
5.1.3	画像編集画面（v1.03 以降） .....	32
5.1.3.1	画像タブ（v1.03 以降） .....	36

5.1.3.2	文字列タブ (v1.03 以降)	38
5.1.3.3	モザイクタブ (v1.03 以降)	40
5.1.3.4	余白タブ (v1.03 以降)	43
5.1.3.5	設定メニュー (v1.03 以降)	45
5.1.3.6	一覧メニュー (v1.03 以降)	47
5.1.4	背景画像画面 (v1.03 以降)	48
5.2	設定画面	53
5.2.1	共通部	53
5.2.2	共通タブ	55
5.2.3	ファイルサイズ指定タブ	58
5.2.4	手動カットタブ (v1.01 以降)	60
5.3	バージョン画面	63
6	注釈説明	65
6.1	(注 1) Windows 設定に依存について	65
7	あとがき	66
7.1	バグを発見した場合	66
7.2	ご意見・ご要望	66
7.3	各種 URL	66
8	更新履歴	67

## 1 はじめに

このツールは、画像ファイルのサイズを変更するツールです。

高さ・幅の指定や倍率の指定、ファイルサイズの指定など用途に合わせて使用できます。

縦長・横長の判別を行い、変換するため、意図しない変換を抑止できます。

回転やアスペクト比の異なるサイズへの変更なども簡単に行えます。

使いこなしていただければ幸いです。

## 2 機能概要

このツールには以下の機能があります。

### 【変換機能】

- 画像フォーマットの変換 (「4.4 複合変換」を参照)
- カラー数の変換 (「4.4 複合変換」を参照)
- サイズ変換
  - ・ 高さ・幅の指定 (「4.1 サイズ指定での変換」を参照)
  - ・ 倍率の指定 (「4.2 倍率指定での変換」を参照)
  - ・ ファイルサイズの指定 (「4.3 ファイルサイズ指定での変換」を参照)
  - ・ アスペクト比の変更
  - ・ 縦長・横長を判別 (「4.5 サイズ変換の種類による変換結果」を参照)
  - ・ 切り取り (v1.01 以降) (「4.6 画像の切り取り」を参照)
- 回転 (「4.4 複合変換」を参照)
  - ・ 右回転・左回転
  - ・ 縦長・横長に揃えるように回転
- 画像編集 (v1.03 以降) (「4.7 画像の編集 (v1.03 以降)」を参照)
  - ・ 画像の追加
  - ・ 文字列の追加
  - ・ モザイクの追加
  - ・ 余白の追加

### 【起動】

- 複数同時起動 (「3.3 複数実行対応」を参照)
  - ・ 同名の二重起動は禁止
  - ・ 別ファイル名による起動は複数可能

### 3 インストール・ライセンスについて

#### 3.1 インストール・アンインストール

インストーラーはありません。

「ImageSizeChange\_バージョン.zip」を任意のディレクトリに展開し、ツールの起動は「ImageSizeChange.exe」を実行してください。

なお、このツールで使用されるファイルは以下の通りです。

表 1 ファイル一覧

種類	ファイル名	説明
付属	ImageSizeChange.exe	実行ファイル
生成	ImageSizeChange.conf	設定ファイル（設定画面で保存すると更新） ※無くても動作可能（保存すると生成）
生成	ImageSizeChange.conf_old	設定ファイルのバックアップ ※設定ファイルが正しく読み込めない場合に使用
生成	ImageSizeChange_edit.conf	編集用の設定ファイル（編集画面で設定を保存すると生成） ※無くても動作可能、ファイル名変更可能（v1.03以降）
付属	簡易マニュアル.txt	簡略版のマニュアル
付属	画像サイズ変更ツールマニュアル.pdf	正規マニュアル（本書・PDF版）
生成	ImageSizeChange.key	認証ファイル ライセンスキーを認証すると生成 ※実行ファイルと同じディレクトリに置くこと
ダウンロード	ImageSizeChange_バージョン.zip	バージョン画面から最新版をダウンロード

## 3.2 ライセンス

### 3.2.1 ライセンスについて

正規版は使用者 1 名に対して 1 ライセンスです。

1 名であれば、複数の PC で使用しても問題ありません。

企業など複数の方が使用する場合、ライセンス契約のお問い合わせをお願いいたします。

なお、正規版のバージョンアップは無料で行えるように作成されております。

試供品（試供モード）でのご利用については、試供品利用の範囲内であれば使用人数に制限はありません。

### 3.2.2 正規版について

正規品としてご購入頂いた場合でも、ライセンス認証を行うまでは試供モードで起動します。

ライセンス認証を行うと全機能が解放されます。（「3.2.4 ライセンス認証方法」参照）

### 3.2.3 試供品（試供モード）について

試供モードは、機能や使い勝手をご評価いただくための物です。

機能の制限はありませんが、実行回数や試用期限の制限があり、PC 間では設定データの引継ぎ（ライセンス認証で引継ぎ可能となる）が出来ません。

ご購入の検討にご利用ください。

正規版のバージョンアップに合わせて試供品もバージョンアップしております。

バージョンが異なる場合、設定ファイルは引き継げませんが、制限がリセットされます。再度ご試供ください。

また、不正使用を検知するように作成しております。不正使用を行った場合、法的措置を取らせていただくことがありますので、ご了承ください。

### 3.2.4 ライセンス認証方法

ご購入頂くと、ライセンスキーの通知か認証ファイルが送られてきます。

#### 【ライセンスキーの場合】

設定画面のバージョンタブからバージョン画面を開き、ライセンスキーを入力してください。認証ファイルが生成され、正規版として動作するようになります。

#### 【認証ファイルの場合】

実行ファイルと同じパスに置くことで、正規版として動作することができます。

3.3 複数実行対応

実行ファイル「ImageSizeChange.exe」をコピーし、ファイル名を変更することで複数の同時実行が可能となります。（同ファイル名での二重起動は禁止で、起動済みがアクティブとなる）

設定を引き継ぎたい場合は、設定ファイルをコピーし、ファイル名（.confの前の部分）を変更した実行ファイル名に合わせてください。

設定ファイルが無い場合でも起動可能です。設定を保存した時に生成されます。

なお、正規版で他ディレクトリに実行ファイルをコピーした場合、認証ファイル「ImageSizeChange.key」（ファイル名は固定の為、変更しない）もコピーしてください。

3.4 バージョンアップ

バージョン画面から最新バージョンのファイルをダウンロードすることができます。

ダウンロードすると、実行パスに「ImageSizeChange\_バージョン.zip」として保存されます。

これを展開し、実行ファイルを置き換えることで最新版へのバージョンアップとなります。

なお、最新のバージョン番号は、バージョン画面の「最新バージョン番号」ボタンを押すと取得できます。

※インターネット環境が必要

3.5 対応 OS

以下の Windows のバージョンに対応します。

表 2 対応 OS

ツールバージョン	Windows バージョン	備考
v1.00～	Windows VistaSP2 以降 Windows 7 SP1 以降 ～ Windows10	.NET Framework 4.5 が動作する環境



## 4 使用方法

基本的な使用方法を以下に記載する。細かい機能や設定については「5 画面説明」を参照。

### 4.1 サイズ指定での変換

画像サイズを、サイズを指定して変更する簡単な手順を以下に示す。

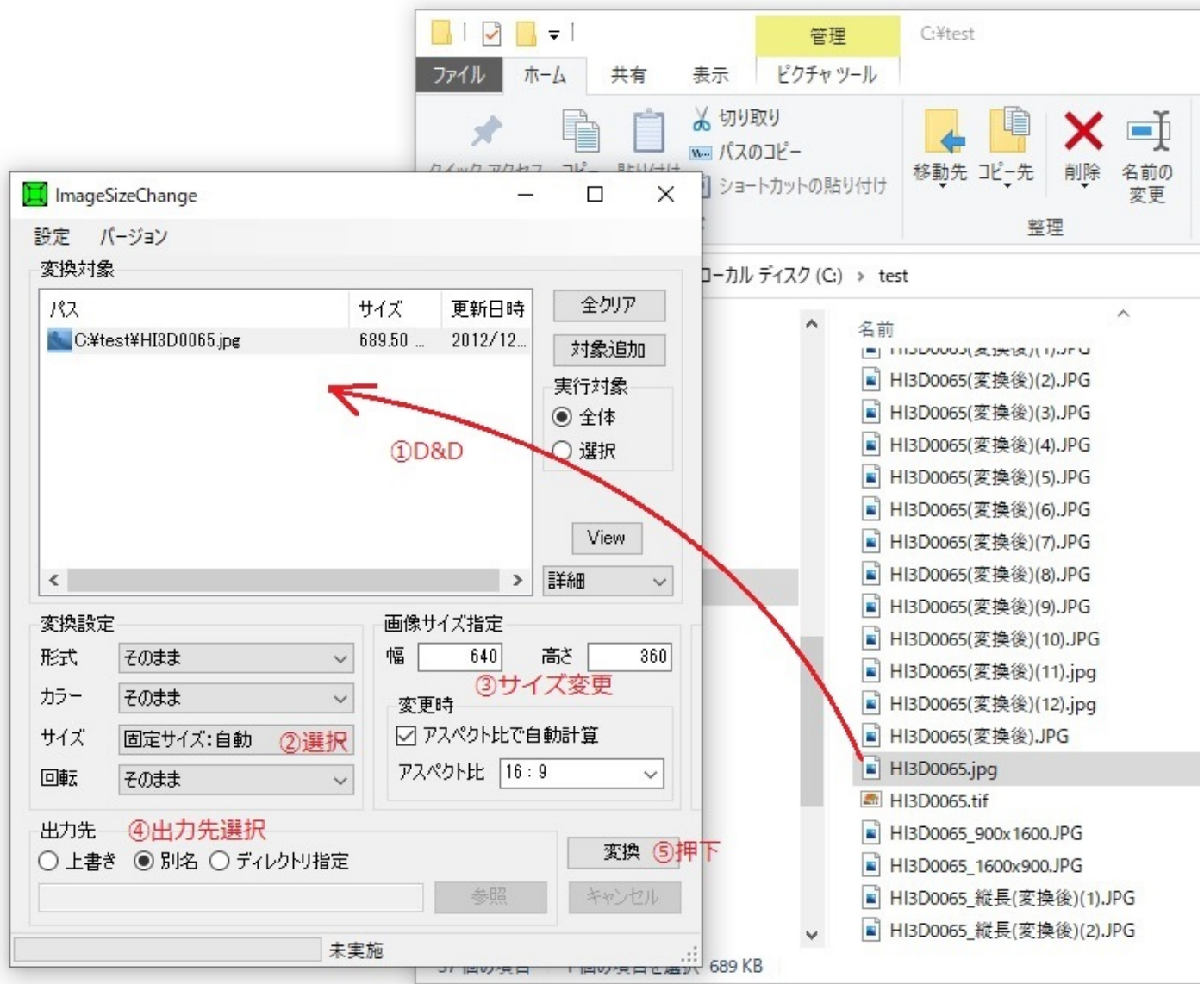


図 1 サイズ指定での変換手順

- ① エクスプローラー等から変換対象をドラッグ&ドロップする。
- ② 変換設定のサイズで固定サイズ: XX を選択する。(画像サイズ指定欄が右側に表示される)
- ③ 画像サイズ指定で、幅と高さを指定する。(例として幅 640)
- ④ 出力先を指定する。
- ⑤ 「変換」ボタンを押下する。

→出力先を別名とした場合、「(変換後)」が付加された幅 640 のファイルに変換される。

高さは、「固定サイズ: 自動」の場合は、元のアスペクト比で計算されるため、元が 4 : 3 の場合は 480 となり、その他は 360 となる。

## 4.2 倍率指定での変換

画像サイズを、倍率を指定して変更する簡単な手順を以下に示す。

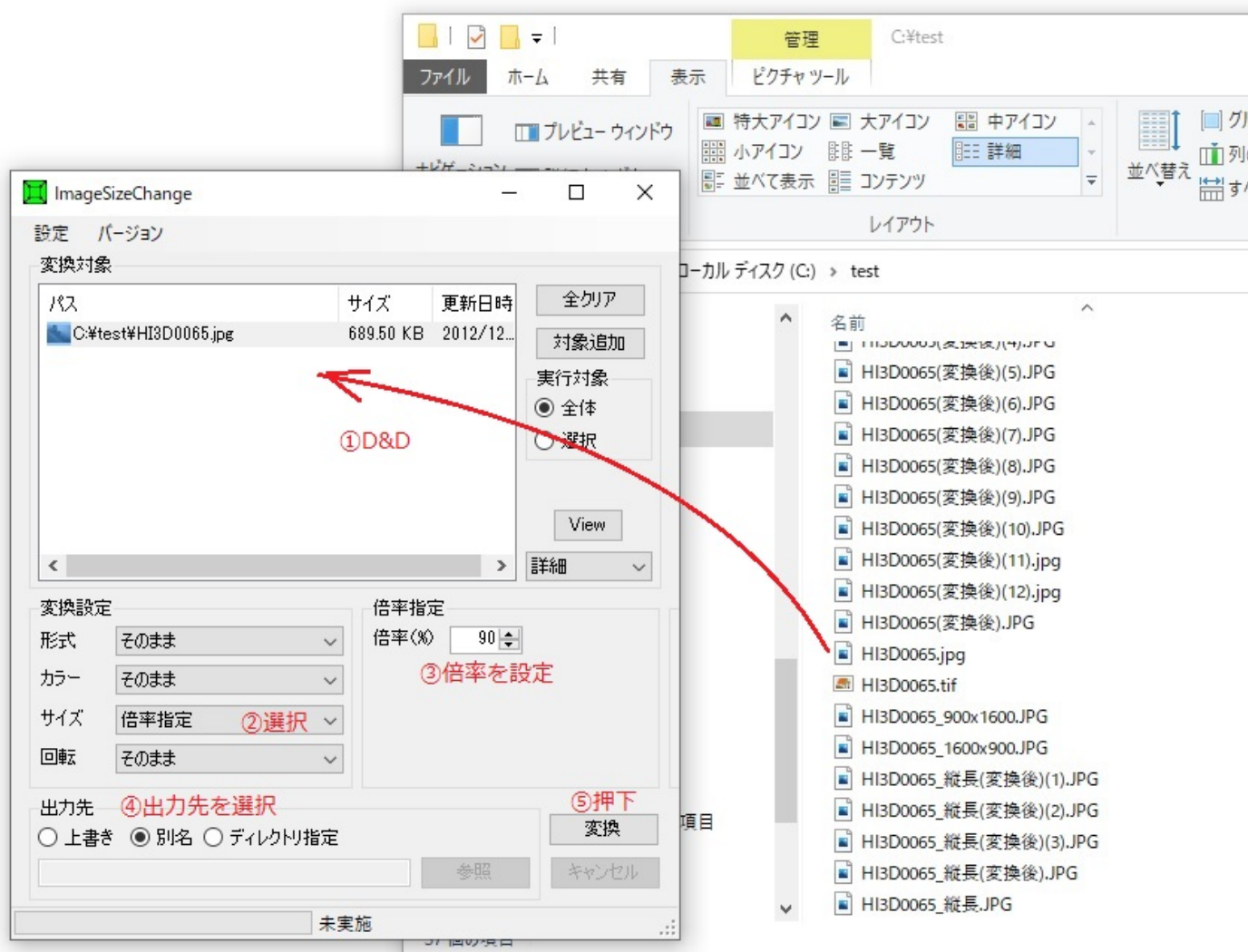


図 2 倍率指定での変換手順

- ① エクスプローラー等から変換対象をドラッグ&ドロップする。
- ② 変換設定のサイズで倍率指定を選択する。(倍率指定欄が右側に表示される)
- ③ 倍率指定で、倍率 (%) を指定する。
- ④ 出力先を指定する。
- ⑤ 「変換」ボタンを押下する。  
→出力先を別名とした場合、「(変換後)」が付加された幅と高さが 90% (元が 1600 の場合は 1440) のファイルが生成される。

### 4.3 ファイルサイズ指定での変換

画像サイズを、ファイルサイズを指定して変更する簡単な手順を以下に示す。

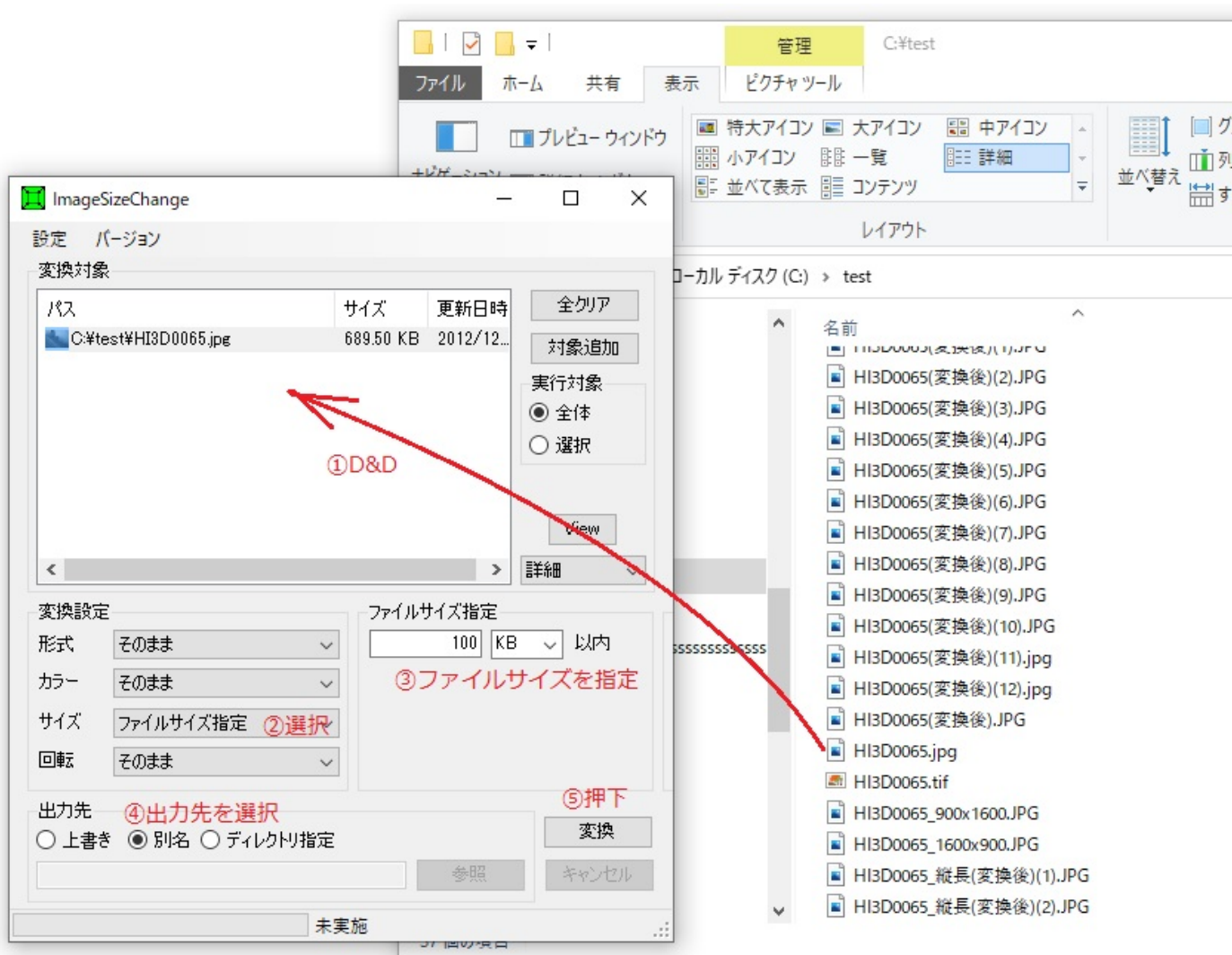


図 3 ファイルサイズ指定での変換手順

- ① エクスプローラー等から変換対象をドラッグ&ドロップする。
- ② 変換設定のサイズでファイルサイズ指定を選択する。(ファイルサイズ指定欄が右側に表示される)
- ③ ファイルサイズ指定で、ファイルサイズ(値と単位)を指定する。
- ④ 出力先を指定する。
- ⑤ 「変換」ボタンを押下する。  
→出力先を別名とした場合、「(変換後)」が付加されたサイズ 100KB 以下のファイルが生成される。

※ファイルサイズは保存後でないとわからないため、何度かファイルに書き出し、サイズを調整している(試行)。試行の設定に関しては「5.2.3 ファイルサイズ指定タブ」を参照。

#### 4.4 複合変換

変換設定にある形式、カラー、サイズ、回転は同時に行うことができる。

複数の設定で変換する手順を以下に記述する。

なお、例として、横長 1600 : 1200 (4 : 3) の Jpeg ファイルを変換する。

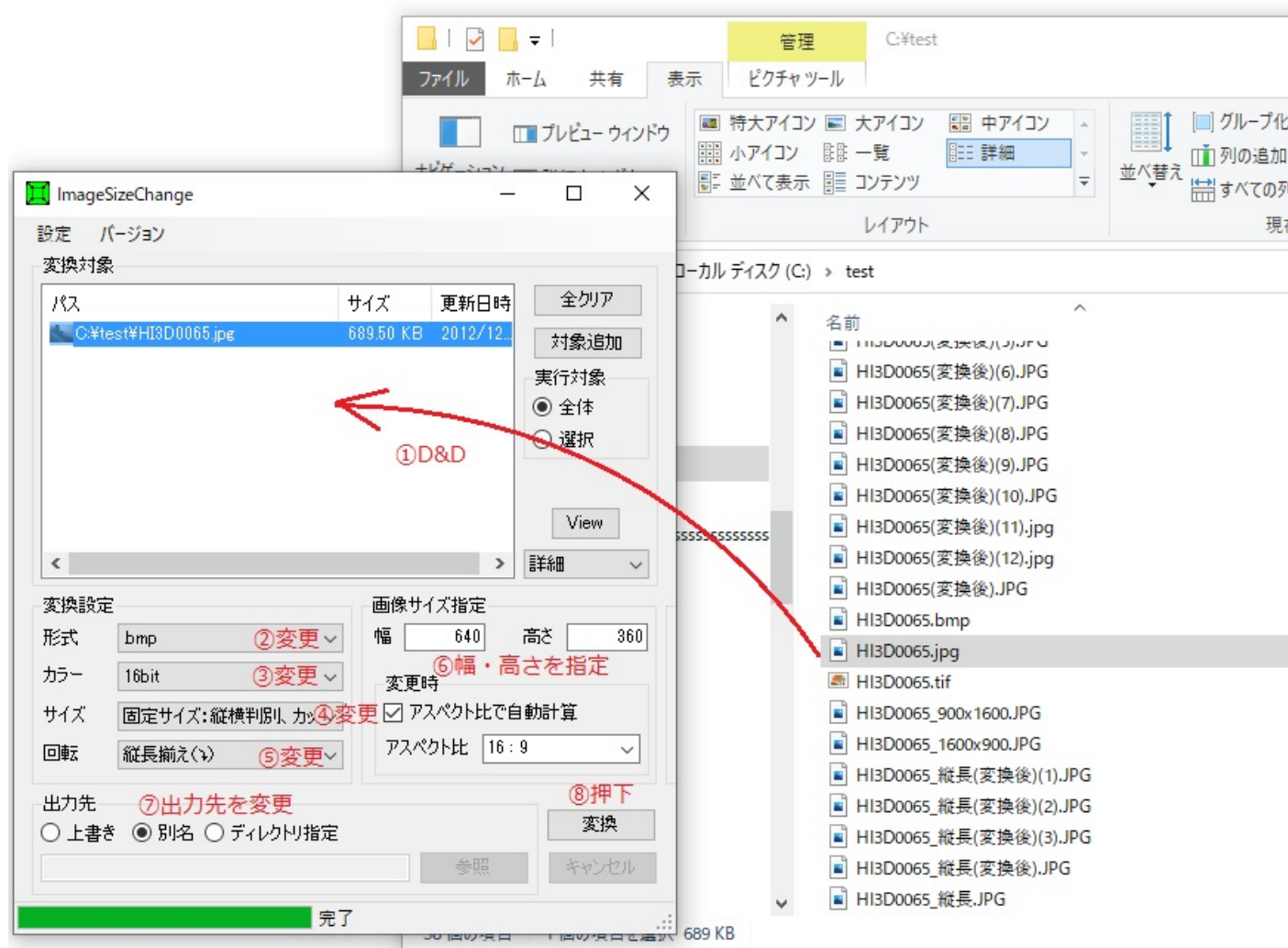


図 4 複合設定での変換手順

- ① エクスプローラー等から変換対象をドラッグ&ドロップする。
- ② 形式を変更 (例として bmp を選択すると jpg→bmp 変換)
- ③ カラーを変更 (例として 16bit を選択すると、jpg 24bit→bmp 16bit 変換)
- ④ サイズを変更 (例として、固定サイズ:縦横判別、カットを選択すると、4 : 3 の画像の上下をカットして 16 : 9 に変換)
- ⑤ 回転を変更 (例として、縦長揃え(⤵)を選択すると、横長画像なので右に 90 度回転)
- ⑥ サイズや倍率など指定 (例として幅 640、高さ 360 の 16 : 9 を指定)。
- ⑦ 「変換」 ボタンを押下する。

→例の結果として、360 : 640 の縦長のカラー16bit の bmp 画像が生成される。



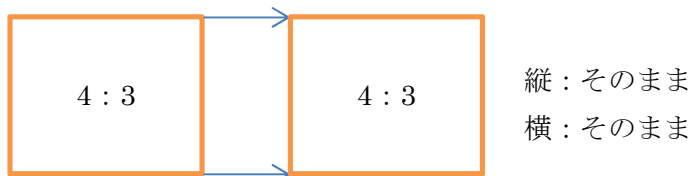
## 4.5 サイズ変換の種類による変換結果

サイズ指定で変換を行う際、固定サイズ：XXの種類によって変換後の画像が異なる。

以下に種類と、例として、4 : 3 の横長画像を 9 : 16 の縦長画像に変更する設定とした場合の変換イメージを記載する。

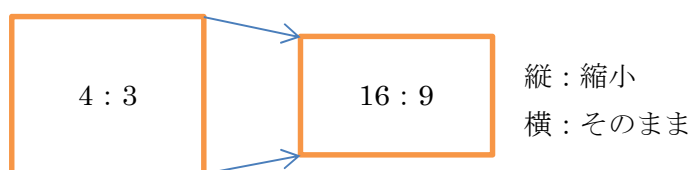
### ① 自動

縦横の自動判別とアスペクト比の自動判別を行い、画像に適したサイズ変換を行う。



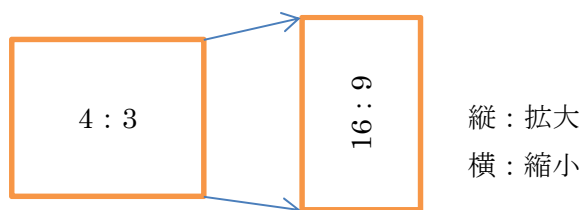
### ② 縦横自動判別、拡大・縮小

縦横の自動判別を行い、アスペクト比が異なる場合は、拡大・縮小してサイズ変換を行う。



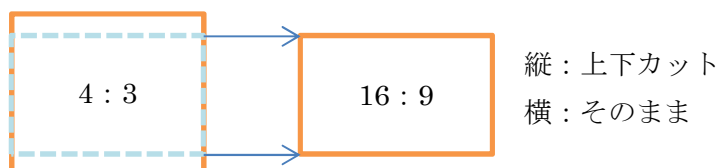
### ③ 縦横固定、拡大・縮小

縦横の判別は行わず、全体を拡大・縮小してサイズ変換を行う。



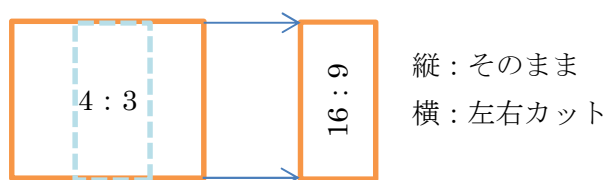
### ④ 縦横自動判別、カット（自動）

縦横の自動判別を行い、アスペクト比が異なる場合は、中心を軸に切り出す。



### ⑤ 縦横固定、カット（自動）

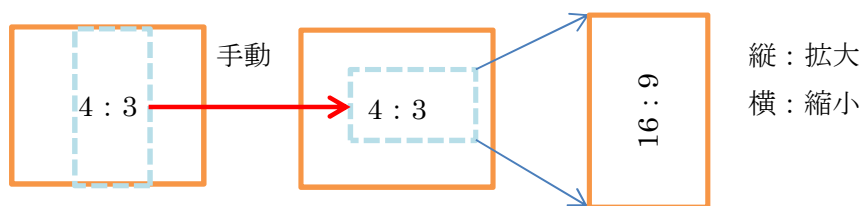
縦横の判別は行わず、アスペクト比が異なる場合は、中心を軸に切り出す。



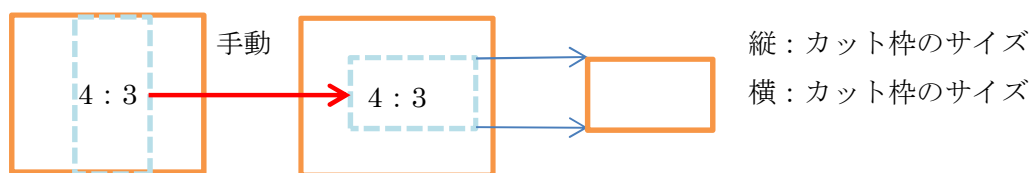
⑥ カット（手動）（v1.01 以降）

カット部分を手動で指定し、切り出す。

- ・「固定サイズ：カット（手動）」の場合、カット部分が指定したサイズに拡大／縮小される



- ・「カット（手動）」の場合、切り取りのみ。



※詳細は「4.6 画像の切り取り」を参照

#### 4.6 画像の切り取り (v1.01 以降)

画像から必要部分を切り出すことができる。

「固定サイズ: カット (手動)」と「カット (手動)」があり、「カット (手動)」は切り出しのみ、「固定サイズ: カット (手動)」は切り出した画像を指定したサイズに変換する。

以下に、「カット (手動)」での手順を記載する。

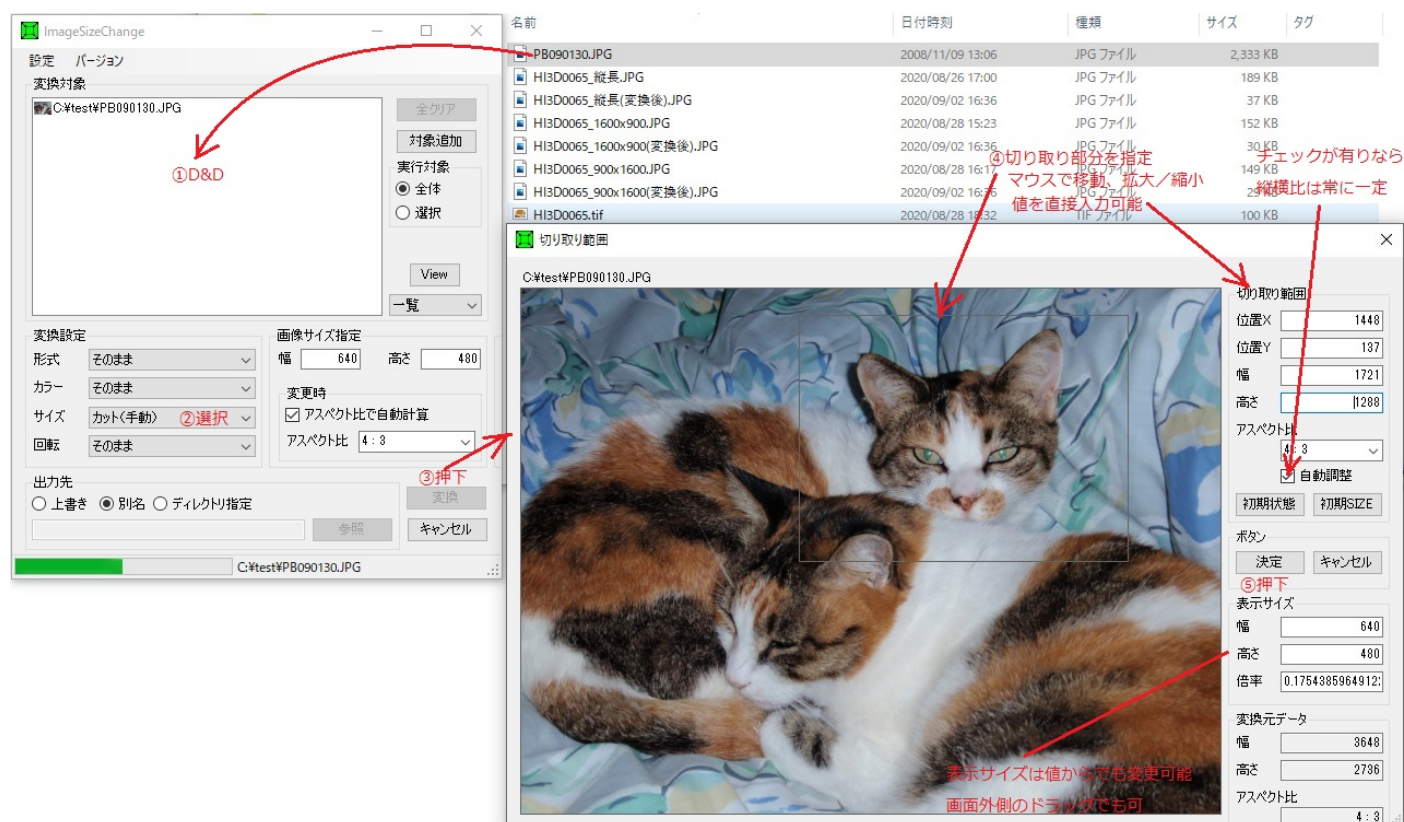


図 5 画像の切り取り手順

- ① エクスプローラー等から変換対象をドラッグ&ドロップする。
- ② サイズで「カット (手動)」を選択する。
- ③ 変換ボタンを押下する。  
→「切り取り範囲」画面が表示される。
- ④ 切り取り範囲 (カット枠) をマウス操作もしくは「切り取り範囲」欄の値で設定する。
- ⑤ 決定ボタンを押下する。

※メイン画面の「画像サイズ指定」の値は、以下の通り扱う。

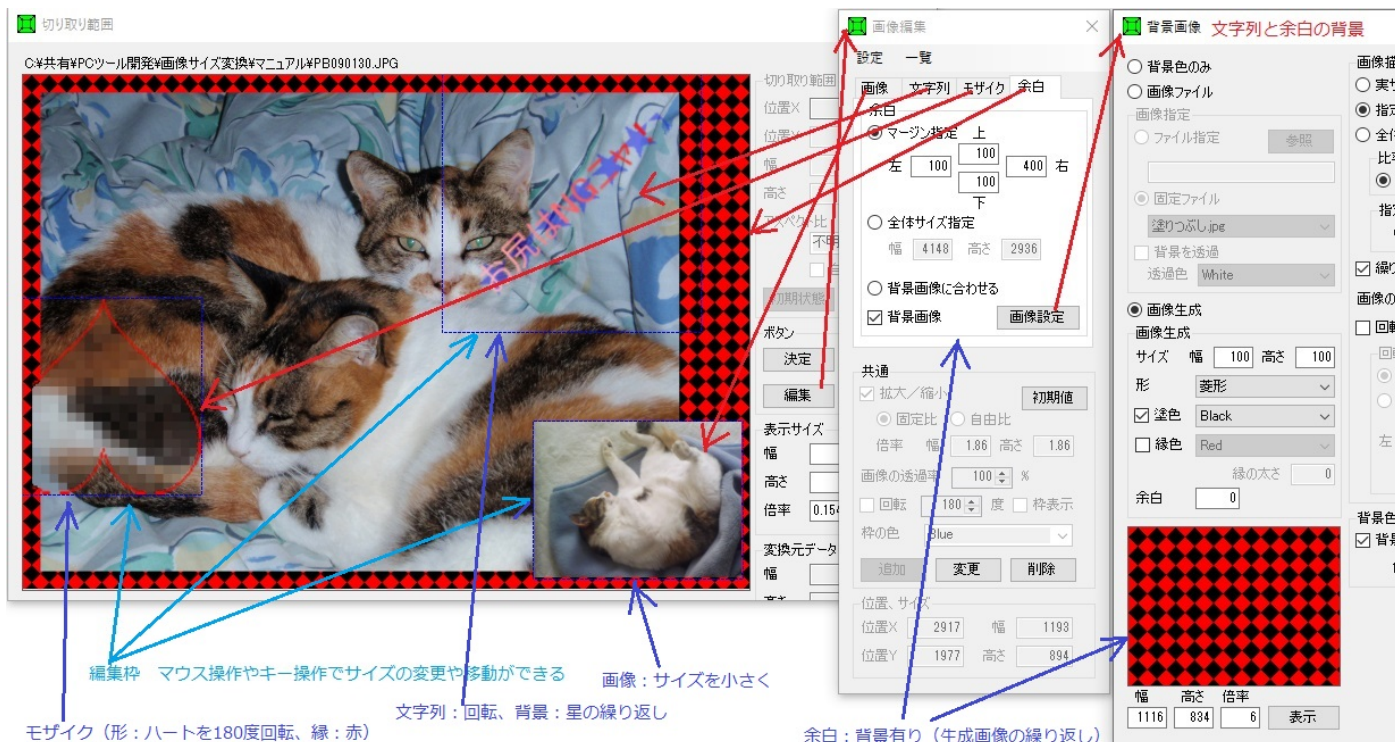
「カット (手動)」の場合: カット枠の初期サイズ。

「固定サイズ: カット (手動)」の場合: 切り出した画像を変換する最終的なサイズ。カット枠の初期サイズはアスペクト比に依存し、比率が同じ場合は全体、比率が異なる場合はカット部分に合わせて表示。

## 4.7 画像の編集 (v1.03 以降)

「切り取り範囲」画面で、画像の編集（画像、文字列、モザイク、余白の追加）を行うことができる。

追加した画像は編集枠で囲まれており、「画像編集」画面での値の変更や、マウス操作で移動やサイズの変更が行える。(余白以外)



## 図 6 画像の編集

「切り取り範囲」画面の「編集」ボタンを押下すると、画像編集画面が表示され、画像、文字列、モザイク、余白の追加が行える。

余白以外で追加を行うと、「編集枠が切り取り範囲」画面の画像上に編集枠が表示される。

余白で追加を行うと、編集枠は表示されず、「編集枠が切り取り範囲」画面の画像に適用される。

文字列と余白では、背景画像を設定することができ、「背景画像」「画像設定」ボタンを押下すると、「背景画像」画面が表示され、指定した画像が背景として表示される。

「画像編集」画面、「背景画像」画面で値を変更した場合、「変更」ボタンで編集枠が更新される。

なお、編集枠の枠（四角）、回転時の枠（円）は、変換した画像には表示されない。

編集枠が重なった場合、透過画像であっても下（先に追加）の編集枠の画像は上（後に追加）の編集枠には表示されないが、変換後の画像は、下（先に追加）の編集枠の画像から順に画像がマージされた画像となる。

順序の入れ替えは、コンテキストメニューの「最前面へ」「最背面へ」で入れ替えること。

編集枠をクリック（選択）後、以下のキー操作が可能となる。



表 3 編集枠のキー操作

操作	動作	備考
上下左右キー	編集枠の移動	Shift キー押下中は移動量アップ
PageDown、PageUp キー	編集枠内の画像の回転	回転が有効な場合のみ Shift キー押下中は回転量アップ
Ctrl+C キー	編集枠のコピー	
Ctrl+V キー	編集枠の貼り付け	
DEL キー	編集枠の無効化（非表示）	
Ctrl+Z キー	元に戻す（最後に追加した編集枠を無効化）	
Ctrl+Y キー	やり直す（無効化された編集枠を有効化）	操作順ではなく追加順

編集枠上でのマウス操作は以下の通り。

表 4 編集枠のマウス操作

操作	動作	備考
枠付近にカーソルを移動	カーソルをサイズ変更系に変更	
枠の右上、左下で Ctrl キー	カーソルを回転に変更	回転が有効な場合のみ
枠内で Ctrl キー	カーソルをサイズ変更（全体）に変更	
枠内を右クリック	編集枠の情報を画像編集画面に表示	
枠内を左クリック	コンテキストメニューを表示	
枠内で左ドラッグ	カーソルをハンドに変更し、編集枠を移動	リアルタイム更新
枠内で右ドラッグ	カーソルをハンドに変更し、編集枠を移動	ドロップ時に更新
カーソルがサイズ変更系で左ドラッグ	編集枠のサイズを変更	「拡大／縮小」が無効な場合は、ドラッグ終了時に元に戻る リアルタイム更新
カーソルがサイズ変更系で右ドラッグ	編集枠のサイズを変更	「拡大／縮小」が無効な場合は、ドラッグ終了時に元に戻る ドロップ時に更新 コンテキストメニューを表示
カーソルが回転でマウスホイール操作	編集枠内の画像の画像の回転	Shift キー押下中は回転量アップ
カーソルがサイズ変更（全体）で	編集枠のサイズ（全体）を変更	Shift キー押下中は変更量アップ

マウスホイール操作		
ドラッグ+Ctrl キー	ドロップ時にドラッグした編集枠を貼り付け	

サイズの大きい画像を編集する場合、編集枠の移動や、サイズ変更、モザイクの描画等に時間がかかることに注意。

最終的に小さな画像に変換する場合、サイズ変換を行った後に変換した画像を編集することを推奨。

## 5 画面説明

### 5.1 変換（メイン）画面

変換を実行する画面。サイズ変更が可能で、幅を広げると起動時には表示されていない倍率指定、ファイルサイズ指定の設定欄が表示される。下図は幅を広げたもの。

なお、「画面サイズ指定」、「倍率指定」、「ファイルサイズ指定」の表示位置は「変換設定」の「サイズ」を選択すると必要な項目が一番左に表示される。



図 7 変換（メイン）画面

- ① 「メニュー」「設定」  
設定画面を表示する。
- ② 「メニュー」「バージョン」  
バージョン画面を表示する。
- ③ 「変換対象」リスト  
変換する画像の一覧。  
ドラッグ&ドロップや、⑤「対象追加」ボタンから変換対象を追加できる。  
削除は、④「全クリア」ボタンで全て、選択して del キーで選択した対象を削除する。  
表示形式は、⑧「View」ボタンもしくは⑨コンボボックスで変更可能。

リストをダブルクリックした場合、変換を実行。(v1.03 以降)

※コンテキストメニューあり (v1.03 以降)

- ④ 「変換対象」「全クリア」ボタン  
リストに登録された全ての変換対象を削除する。
- ⑤ 「変換対象」「対象追加」ボタン  
ファイル参照のダイアログを開く。  
画像ファイルを選択することで、変換対象に追加する。
- ⑥ 「変換対象」「実行対象」「全体」ラジオボタン  
変換を実施する対象を、リストに登録された全てとする場合にチェックする。
- ⑦ 「変換対象」「実行対象」「選択」ラジオボタン  
変換を実施する対象を、リストで選択したファイルのみとする場合にチェックする。
- ⑧ 「変換対象」「View」ボタン  
リストの表示方式を順次変更する。  
詳細→一覧→小アイコン→大アイコン→タイル→詳細→・・・
- ⑨ 「変換対象」「View」コンボボックス  
リストの表示方式を選択して変更する。
- ⑩ 「変換設定」「形式」コンボボックス  
画像ファイルの形式（拡張子）を変更する場合に選択する。  
対応する画像ファイルは以下の通り。なお、種類が同じ場合は、内容は変わらず、変換は行われ  
ない。

表 5 画像ファイルの形式

画像ファイルの拡張子	画像ファイルの種類
.bmp	ビットマップ
.dib	ビットマップ
.rle	ビットマップ
.jpg	JPEG
.jpeg	JPEG
.jpe	JPEG
.jfif	JPEG
.gif	GIF
.emf	拡張メタファイル

.wmf	Windows メタファイル
.tif	TIFF
.tiff	TIFF
.png	PNG
.ico	アイコン

⑪ 「変換設定」「カラー」コンボボックス

画像ファイルのカラー数（ビットの深さ）を変更する場合に選択する。

対応するカラー数（ビットの深さ）は以下の通り。

表 6 カラー数（ビットの深さ）

カラー数（ビットの深さ）	PixelFormat の種類
64bit	Format64bppArgb
48bit	Format48bppRgb
32bit	Format32bppArgb
24bit	Format24bppRgb
16bit	Format16bppRgb555
8bit	Format8bppIndexed
4bit	Format4bppIndexed
白黒	Format1bppIndexed
16bit グレースケール	Format16bppGrayScale
グレースケール	独自変換

⑫ 「変換設定」「サイズ」コンボボックス

画像ファイルのサイズを変更する場合に選択する。

対応するサイズ変更の種類は以下の通り。また、変換した際のイメージ図は「4.5 サイズ変換の種類による変換結果」を参照。

表 7 サイズ変更の種類

サイズ変更	変更内容
固定サイズ：自動	縦横のアスペクト比を自動で判別し、サイズを変更。 なお、サイズの指定はどちらか一方で良い。片方は空欄か 0 を指定、両方設定されている場合は大きい値が有効（v1.02） ※アスペクト比が異なる場合も、画像の幅と高さの比率が変わらない
固定サイズ：縦横判別、拡大・縮小	縦横を判別し、サイズを変更。 ※アスペクト比が異なる場合は、幅か高さの一方（少ない方）を拡大・縮小

固定サイズ：縦横固定、拡大・縮小	指定したサイズに拡大・縮小。 ※アスペクト比が異なる場合は、幅・高さの両方を拡大・縮小
固定サイズ：縦横判別、カット（自動）	縦横を判別し、アスペクト比が異なる場合は、その余剰分をカットし、サイズを変更
固定サイズ：縦横固定、カット（自動）	アスペクト比が異なる場合は、その余剰分をカットし、サイズを変更
固定サイズ：カット（手動）	範囲を手動で指定してカットし、サイズを変更（v1.01以降） 画像の編集も可能（v1.03以降）
倍率指定	倍率でサイズを変更。指定範囲は 10～200%
ファイルサイズ指定	指定したファイルサイズになるようにサイズを変更。※ 数度試行し、ファイルサイズを確認
カット（自動、縦横判別）	縦横を判別し、アスペクト比が異なる場合は、その余剰分をカット（v1.01以降）
カット（自動、縦横固定）	アスペクト比が異なる場合は、その余剰分をカット（v1.01以降）
カット（手動）	範囲を手動で指定してカット（v1.01以降） 画像の編集も可能（v1.03以降）
編集	画像の編集を行う ※カット（手動）系でも実施可能（v1.03以降）

⑬ 「変換設定」「回転」コンボボックス

画像ファイルを回転させる場合に選択する。

対応する回転の種類は以下の通り。

表 8 回転の種類

回転の種類	変更内容
右回転（↻）	変換する全ての画像ファイルを右に 90° 回転
左回転（↺）	変換する全ての画像ファイルを左に 90° 回転
横長揃え（↻）	縦長の画像ファイルを右に 90° 回転
横長揃え（↺）	縦長の画像ファイルを左に 90° 回転
縦長揃え（↻）	横長の画像ファイルを右に 90° 回転
縦長揃え（↺）	横長の画像ファイルを左に 90° 回転

⑭ 「画像サイズ指定」「幅」入力欄

画像ファイルの変換後の幅を入力する。

⑫で固定サイズ系の場合のみ有効。なお、「固定サイズ：自動」の場合は⑮と比較し、大きい方のみ

有効。無効な方は自動計算。

⑮ 「画像サイズ指定」「高さ」入力欄

画像ファイルの変換後の高さを入力する。

⑫で固定サイズ系の場合のみ有効。なお、「固定サイズ：自動」の場合は⑭と比較し、大きい方のみ有効。無効な方は自動計算。

⑯ 「画像サイズ指定」「変更時」「アスペクト比を自動計算」チェックボックス

⑭幅もしくは⑮高さを変更した場合に、⑰で指定したアスペクト比で自動計算する場合にチェックする。

⑰ 「画像サイズ指定」「変更時」「アスペクト比」コンボボックス

⑭幅もしくは⑮高さを変更した場合に、自動計算するアスペクト比を選択する。

なお、選択にないアスペクト比の入力・追加も可能。

追加する場合は、入力後にリターンキーを押下する。ただし、削除を行う機能は搭載しないため、設定ファイルから削除することで対応する必要がある。

⑱ 「倍率指定」「倍率」入力欄

画像ファイルの変換時の倍率を%で入力する。

指定範囲は 10～200%。

⑲ 「ファイルサイズ指定」「ファイルサイズ」入力欄

画像ファイルの変換後のファイルサイズ（単位は⑳で設定）を入力する。

変換後の画像ファイルのサイズがこの値より若干少なくなるように、数回試行して、幅、高さが調整される。

㉑ 「ファイルサイズ指定」「サイズ単位」コンボボックス

画像ファイルの変換後のファイルサイズの単位を選択する。

㉒ 「出力先」「上書き」ラジオボタン

変換後のファイルを元のファイルに上書きする場合にチェックする。

なお、形式を変換した場合は、その拡張子のファイルが生成（同じファイル名があれば上書き）される。

※実行時に確認（v1.03 以降）

※元ファイルはゴミ箱に移動する（v1.03 以降）

㉓ 「出力先」「別名」ラジオボタン

変換後のファイルを元のファイルとは別名で保存する場合にチェックする。

変更後のファイル名は、デフォルトでは「(変更後)」が付加されたファイル名となり、さらに同じファイル名で変換された場合は、「(変更後) (1)」、「(変更後) (2)」・・・と連番が付加されたファイル

名となる。

- ②③ 「出力先」「ディレクトリ指定」ラジオボタン  
変換後のファイルを別ディレクトリに保存する場合にチェックする。  
ディレクトリの指定は②④で行う。
- ②④ 「出力先」「ディレクトリ」入力欄  
変換後のファイルを別ディレクトリに保存する場合のディレクトリを指定する。  
※D&D 可／参照可。
- ②⑤ 「出力先」「参照」ボタン  
参照ダイアログで、変換後のファイルを別ディレクトリに保存する場合のディレクトリを指定する。
- ②⑥ 「変換」ボタン  
変換を開始する。
- ②⑦ 「キャンセル」ボタン  
変換を実行中の場合、キャンセルする。
- ②⑧ 「進捗」プログレスバー  
変換の進捗を表示する。
- ②⑨ 「実行パス」表示欄  
変換を実行しているパスや状態を表示する。



### 5.1.1 変換（メイン）画面のコンテキストメニュー（v1.03 以降）

変換（メイン）画面の変換対象の一覧上に表示されるコンテキストメニュー。



図 8 変換（メイン）画面のコンテキストメニュー

- ① 「全選択」メニュー  
変換対象の一覧上の全項目を選択する。
- ② 「変換実行」メニュー  
変換ボタンと同等。
- ③ 「貼り付け」メニュー  
Ctrl+Cなどでコピーされているファイルを変換対象の一覧に追加する。  
※画像ファイル以外は追加されない
- ④ 「削除」メニュー  
変換対象の一覧上で選択されている項目を一覧から削除する。
- ⑤ 「空画像生成」メニュー  
編集のベースとする空の画像（背景は白もしくは透明）を生成する。  
生成される画像のサイズは、画像サイズ指定欄の幅、高さを元にする。  
※画像サイズ指定欄は固定サイズ系の変換設定でのみ有効
- ⑥ 「格納場所表示」メニュー  
変換対象の一覧上で選択されている項目の格納先を表示する。  
※通常はエクスプローラーを表示するが、Windows 設定に依存（注1）
- ⑦ 「画像表示」メニュー  
変換対象の一覧上で選択されている項目の画像を表示する。  
※画像の表示ツールは、Windows 設定に依存（注1）

### 5.1.2 切り取り範囲画面

手動カットを実行時、切り取り範囲を指定するための画面。

画像の貼り付けや、文字列の追加、モザイク処理なども行える。(v1.03 以降)

画面サイズの初期値は、設定画面の「初期サイズ」で画像の表示サイズを設定し、画像のサイズに対応した画面サイズとなる。初期表示後は、画面の外枠のドラッグや、表示サイズ欄の値の変更で行えるが、画像の縦横比率（アスペクト比）が変化しないように調整される。

切り取り範囲を決定時、「固定サイズ：カット（手動）」で実行された場合、カットした部分が指定したサイズに変更されることに注意。

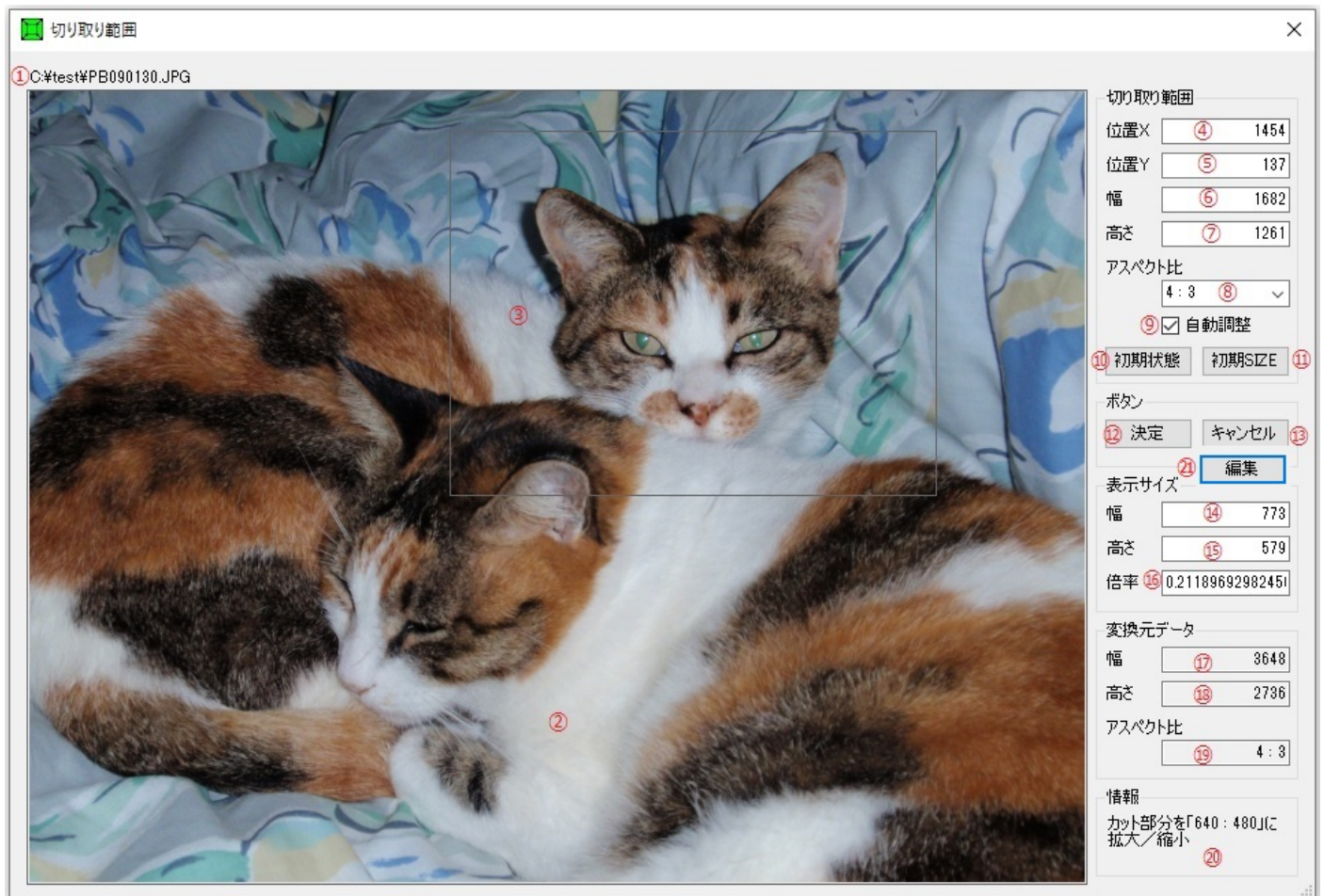


図 9 切り取り範囲画面

- ① 「パス」  
表示されている画像のパスを表示する。
- ② 「元画像」  
カット前の画像を表示する。  
画像サイズを変更したい場合は、画面自体のサイズを変更する。
- ③ 「カット枠」  
切り出す範囲を指定する。

カット枠では以下の操作が有効。

表 9 カット枠の操作

操作	動作
カット枠内部を左ドラッグ (※右ドラッグ)	カット枠をドラッグして移動
画像を左ダブルクリック	ダブルクリックした場所にカット枠の右上を移動
カット枠の枠部分を左ドラッグ (※右ドラッグ)	ドラッグした枠部分を拡大／縮小
カット枠の枠部分でマウスホイール	カーソルがある枠部分を拡大／縮小 ※Shift で量増加
カット枠内部で Ctrl キー押下＋マウスホイール	カット枠全体を拡大／縮小 ※Shift で量増加
矢印キー (※カット枠にフォーカスがある場合)	カット枠を移動 ※Shift で量増加
右クリック	コンテキストメニュー表示

※右ドラッグの場合、ボタンを離れた場所で表示が反映される。リアルタイムの表示ではないため、画面のちらつきがありません。

※カット枠内でクリックするとカット枠にフォーカスが移る。

④ 「切り取り範囲」「位置 X」入力欄

切り取り枠の右上の X 軸（横）の位置を表示する。

数値を変更後、リターンキーを押下で切り取り枠が移動する。

※値は実画像のサイズに対比。

⑤ 「切り取り範囲」「位置 Y」入力欄

切り取り枠の右上の Y 軸（縦）の位置を表示する。

数値を変更後、リターンキーを押下で切り取り枠が移動する。

※値は実画像のサイズに対比。

⑥ 「切り取り範囲」「幅」入力欄

切り取り枠の幅を表示する。

数値を変更後、リターンキーを押下で切り取り枠のサイズが変更される。

※値は実画像のサイズに対比。

⑦ 「切り取り範囲」「高さ」入力欄

切り取り枠の高さを表示する。

数値を変更後、リターンキーを押下で切り取り枠のサイズが変更される。

※値は実画像のサイズに対比。

⑧ 「切り取り範囲」「アスペクト比」コンボボックス

切り取り枠のアスペクト比を表示する。選択可能なアスペクト比はメイン画面に登録されているアスペクト比となる。

クリックもしくは選択を変更すると、アスペクト比に対応したサイズに切り取り枠が変更される。

値を入力し、リターンキーを押下で新規登録することも可能。ただし、メイン画面には反映されな

い。

- ⑨ 「切り取り範囲」「自動調整」チェックボックス  
切り取り枠のサイズ変更時、アスペクト比で自動調整したい場合にチェックする。  
高さを変更した場合は幅が、幅を変更した場合は高さがアスペクト比に対応する値に自動調整される。
- ⑩ 「切り取り範囲」「初期状態」ボタン  
切り取り枠の位置、サイズを初期状態に戻す場合に押下する。
- ⑪ 「切り取り範囲」「初期 SIZE」ボタン  
切り取り枠のサイズを初期状態に戻す場合に押下する。
- ⑫ 「ボタン」「決定」ボタン  
切り取り範囲を決定する場合に押下する。
- ⑬ 「ボタン」「キャンセル」ボタン  
切り取りをキャンセルする場合に押下する。  
表示した画面の処理は全てキャンセルされる。
- ⑭ 「表示サイズ」「幅」入力欄  
元画像の表示サイズの幅を表示する。  
数値を変更後、リターンキーを押下で元画像の幅が変更され、そのサイズに合わせて元画像の高さ及び画面のサイズが変更される。
- ⑮ 「表示サイズ」「高さ」入力欄  
元画像の表示サイズの高さを表示する。  
数値を変更後、リターンキーを押下で元画像の高さが変更され、そのサイズに合わせて元画像の幅及び画面のサイズが変更される。
- ⑯ 「表示サイズ」「倍率」入力欄  
元画像のサイズと表示サイズの倍率を表示する。通常の写真などでは、表示サイズが小さくなるため、1以下の値となる。  
数値を変更後、リターンキーを押下で倍率に合わせて元画像のサイズ及び画面のサイズが変更される。  
※値の制限はしていないため、大きい値は注意が必要。1倍以上は注意勧告あり。
- ⑰ 「変換元データ」「幅」表示  
元画像のサイズの幅を表示する。

- ⑱ 「変換元データ」「高さ」表示  
元画像のサイズの高さを表示する。
- ⑲ 「変換元データ」「アスペクト比」表示  
元画像のアスペクト比を表示する。  
登録されていないアスペクト比の画像の場合は、計算で求められた値となる。
- ⑳ 「情報」欄  
その他の情報が表示される。  
現状、カット後のサイズなどが表示される。
- ㉑ 「編集」ボタン (v1.03 以降)  
画像編集画面を表示する。  
※「変換設定」「サイズ」「編集」以外で変換した場合、「編集」以外でも編集機能を使用する」の設定によっては押下できない。

※各項目の表示順序、非表示は設定画面にて変更可能（「5.2.4 手動カットタブ (v1.01 以降)」参照）

※表示中はメイン画面の操作は行わないこと。

#### 5.1.2.1 切り取り範囲画面のコンテキストメニュー

切り取り範囲画面の元画像上で表示されるコンテキストメニュー。



図 10 切り取り範囲画面のコンテキストメニュー

- ① 「最前面へ」メニュー（v1.03 以降）  
編集枠を最前面へ移動する。  
※編集枠上のみ表示  
※画像編集の一覧に表示される順序も入れ替え
- ② 「最背面へ」メニュー（v1.03 以降）  
編集枠を最背面へ移動する。  
※編集枠上のみ表示  
※画像編集の一覧メニューに表示される順序も入れ替え
- ③ 「コピー」メニュー（v1.03 以降）  
編集枠をコピーする。  
※編集枠上のみ表示
- ④ 「貼り付け」メニュー（v1.03 以降）  
コピーした編集枠を張り付ける。
- ⑤ 「削除（無効化）」メニュー（v1.03 以降）  
編集枠を無効化（非表示）する。  
※編集枠上のみ表示  
※⑤「全無効枠の有効化」メニューもしくは画像編集の一覧メニューから再度表示可
- ⑥ 「削除（完全削除）」メニュー（v1.03 以降）  
編集枠を削除する。

※編集枠上のみ表示

- ⑦ 「全無効枠を有効化」メニュー（v1.03 以降）  
無効化（非表示）された編集枠を再度表示する。
- ⑧ 「全無効枠を完全削除」メニュー（v1.03 以降）  
無効化（非表示）された編集枠を削除する。
- ⑨ 「決定」メニュー  
決定ボタンと同等。
- ⑩ 「キャンセル」メニュー  
キャンセルボタンと同等。



### 5.1.3 画像編集画面（v1.03 以降）

画像を編集するための画面。

画像や文字列、モザイク処理、余白の追加、変更、削除を行う。

余白以外で追加すると編集枠を「切り取り範囲」画面の画像上左上に表示する。編集枠のサイズや枠内の画像は指定した内容に依存する。

余白の場合は、「切り取り範囲」画面の画像に適用される

なお、追加後、値を変更しても反映されないため、適用するには変更ボタンを押下すること。



図 11 画像編集（共通）画面

#### ① 「設定」メニュー

設定メニューを表示し、設定の保存や読み込みを行う。

※詳細は「5.1.3.5 設定メニュー（v1.03 以降）」を参照

#### ② 「一覧」メニュー



一覧メニューを表示し、編集枠の選択、有効化／無効化を変更する。

※詳細は「5.1.3.6 一覧メニュー（v1.03以降）」を参照

- ③ 「共通」「拡大／縮小」チェックボックス  
編集枠のサイズを変更する場合にチェックする。
- ④ 「共通」「拡大／縮小」「固定比」ラジオボタン  
編集枠のサイズを変更する際、固定比（アスペクト比が変わらない）とする場合にチェックする。  
※サイズ変更の際、自動的に固定比になるように画像サイズは修正される。
- ⑤ 「共通」「拡大／縮小」「自由比」ラジオボタン  
編集枠のサイズを変更する際、自由比（アスペクト比が変わる）とする場合にチェックする。
- ⑥ 「共通」「拡大／縮小」「倍率：幅」入力欄  
編集枠の表示サイズの幅を指定及び表示する。  
追加、変更を行った場合は、この倍率で画像が表示される。  
切り取り範囲画面内で、サイズを変更した際は、変更後の倍率を表示する。
- ⑦ 「共通」「拡大／縮小」「倍率：高さ」入力欄  
編集枠の表示サイズの高さを指定及び表示する。  
追加、変更を行った場合は、この倍率で画像が表示される。  
切り取り範囲画面内で、サイズを変更した際は、変更後の倍率を表示する。
- ⑧ 「共通」「画像の透過率」入力欄  
編集枠を透過（透ける）する場合に値を変更する。  
指定範囲は、0（完全透過＝表示されない）～100（透過なし）。
- ⑨ 「共通」「回転」チェックボックス  
編集枠内の画像を回転させる場合にチェックする。  
※回転させる場合、回転に必要なサイズに変更されるため、編集枠は大きくなる。（画像サイズは変わらない）
- ⑩ 「共通」「回転」「回転角度」入力欄  
編集枠内の画像を回転させる際の角度を指定する。  
指定範囲は、0（回転なし）～359度。  
※編集枠の右上もしくは左下で **ctrl** キー＋マウスホイールでの変更も可能。  
※**PageUp**、**PageDown** キーでの変更も可能
- ⑪ 「共通」「回転」「枠表示」チェックボックス  
編集枠を回転させる際、回転場所を示す枠を表示する場合にチェックする。

※この枠は適用時には表示されない。

※モザイクの場合、編集枠の画像の配置が換わるので注意。適用時は、表示されている状態に従う。

⑫ 「共通」「枠の色」コンボボックス

編集枠の色を指定する。

※この枠は適用時には表示されない。

※一覧メニューに表示される色と連動する。

⑬ 「共通」「追加」ボタン

編集枠を追加する。

⑭ 「共通」「変更」ボタン

編集枠を変更する。

※値を変更しただけでは編集枠は変更されないので注意。

⑮ 「共通」「削除」ボタン

編集枠を削除（無効化）する。

※データの残っているため、元に戻す操作や、一覧メニューから再度表示することが可能。

※完全に削除する場合は、「切り取り範囲」画面のコンテキストメニューから行う

⑯ 「共通」「初期値」ボタン

各値を初期値に戻す。

⑰ 「サイズ、位置」「位置 X」入力欄

編集枠の位置（X座標＝横）を表示する。

値を変更し、リターンキー押下で編集枠の場所を移動する。

※実サイズの値、負数可

⑱ 「サイズ、位置」「位置 Y」入力欄

編集枠の位置（Y座標＝縦）を表示する。

値を変更し、リターンキー押下で編集枠の場所を移動する。

※実サイズの値、負数可

⑲ 「サイズ、位置」「幅」入力欄

編集枠の幅を表示する。

値を変更し、リターンキー押下で編集枠のサイズを変更する。

※実サイズの値

⑳ 「サイズ、位置」「高さ」入力欄

編集枠の高さを表示する。

値を変更し、リターンキー押下で編集枠のサイズを変更する。

※実サイズの値

#### 5.1.3.1 画像タブ（v1.03 以降）

追加する画像の設定を行うタブ。



図 12 画像編集（画像タブ）画面

① 「固定ファイル」ラジオボタン

「sample」ディレクトリに格納されている画像を追加する場合にチェックする。

※頻繁に使用する画像を簡単に使用するためのもので、画像は提供していない。使用する場合は、ツールの実行ファイルがあるディレクトリに「sample」ディレクトリを作成し、画像ファイルを配置すること。

② 「固定ファイル」コンボボックス

「sample」ディレクトリに格納されている画像を選択する。

③ 「ファイル指定」ラジオボタン

追加する画像を指定する場合に選択する。

④ 「ファイル指定」入力欄

追加する画像のパスを入力する。

※D&Dは不可。直接入力するか、⑤参照から選択する。

⑤ 「ファイル指定」参照ボタン

追加する画像を参照から指定する場合に押下する。

⑥ 「背景を透過」チェックボックス

追加する画像の背景を透過する場合にチェックする。

※透過可能な色は単色のみ

⑦ 「背景を透過」「透過色」コンボボックス

追加する画像の背景を透過する場合に透過する色を選択する。

5.1.3.2 文字列タブ（v1.03 以降）

追加する文字列の設定を行うタブ。



図 13 画像編集（文字列タブ）画面

- ① 「文字列」 入力欄  
追加する文字列を入力する。
- ② 「フォント」 コンボボックス  
追加する文字列のフォントを選択する。
- ③ 「サイズ」 コンボボックス  
追加する文字列のサイズを選択する。
- ④ 「文字色」 コンボボックス  
追加する文字列の色を選択する。  
※グラデーションを行う際は、開始の色となる。
- ⑤ 「表示方式」 コンボボックス  
追加する文字列の表示方式を選択する。

表 10 文字列の表示方式

方式	表示
横書き	文字列を横書きで表示する
縦書き（左→右）	文字列を縦書きで表示し、改行した場合は、左から右へ改行される
縦書き（右→左）	文字列を縦書きで表示し、改行した場合は、右から左へ改行される

- ⑥ 「背景有り」チェックボックス  
追加する文字列に背景を表示する場合にチェックする。  
※背景設定が必要。
- ⑦ 「背景有り」「画像設定」ボタン  
追加する文字列の背景を設定する。(背景画像画面を表示)
- ⑧ 「グラデーション」チェックボックス  
文字列の色をグラデーションさせる場合にチェックする。
- ⑨ 「グラデーション」「終了色」コンボボックス  
文字列の色をグラデーションさせる際の終了色を選択する。  
※開始色は④「文字色」を使用
- ⑩ 「補正：X」入力欄  
文字列を画像に変換した際の左側の位置を補正する値を指定する。
- ⑪ 「補正：Y」入力欄  
文字列を画像に変換した際の上側の位置を補正する値を指定する。
- ⑫ 「補正：幅」入力欄  
文字列を画像に変換した際の右側の位置を補正する値を指定する。
- ⑬ 「補正：高さ」入力欄  
文字列を画像に変換した際の下側の位置を補正する値を指定する。

※「補正」とは、文字列を画像として表示する際、フォントなどの条件により文字列の上下左右に余白が多くできたり、少なかったりする。プログラムでの制御は不可能なため、画像位置を補正できるようにしている。

5.1.3.3 モザイクタブ（v1.03 以降）

追加するモザイクの設定を行うタブ。



図 14 画像編集（モザイクタブ）画面

- ① 「形」コンボボックス
- モザイクの形を選択する。

表 11 生成可能な画像

生成可能な画像の形	備考
四角	
円・楕円	
扇（90 度）	円の上半分を使用しているため、幅を高さの 2 倍で生成すると真円となる
扇（120 度）	
扇（150 度）	
半円・扇（180 度）	
菱形	
星	
ハート	

- ② 「サイズ：幅」入力欄



「形」で選択した画像を生成する際の幅を指定する。

③ 「サイズ：幅」入力欄

「形」で選択した画像を生成する際の高さを指定する。

④ 「モザイク」ラジオボタン

指定箇所をモザイク表示する場合にチェックする。

⑤ 「モザイク」「コアサイズ」入力欄

モザイク表示をする際に同色で表示する1辺の長さを指定する。

⑥ 「塗りつぶし」ラジオボタン

指定箇所を塗りつぶし表示する場合にチェックする。

⑦ 「塗りつぶし」「色」コンボボックス

指定箇所を塗りつぶし表示する際の色を選択する。

⑧ 「縁色」チェックボックス

生成する画像に縁をつける場合にチェックする。

※モザイクの場合、縁部分はモザイク処理されない

⑨ 「縁色」「色」コンボボックス

生成する画像に縁をつける際の色を選択する。

⑩ 「縁色」「縁の太さ」入力欄

生成する画像に縁をつける際の色を縁の太さを指定する。

※浮動小数点での入力が可能。0の場合は1で処理する。

⑪ 「描画方法」「自由比」ラジオボタン

編集枠を生成した画像と異なるサイズにする場合、生成した画像を自由比（アスペクト比を変更する）で拡大／縮小する場合にチェックする。

⑫ 「描画方法」「固定比で繰り返し」ラジオボタン

編集枠を生成した画像と異なるサイズにする場合、生成した画像を固定比（アスペクト比を変更しない）で拡大／縮小し、足りない部分は繰り返し表示する場合にチェックする。

※共通部で自由比（編集枠の設定）としている場合に有効

※繰り返しは左上が起点となる

⑬ 「描画方法」「固定サイズで繰り返し」ラジオボタン

編集枠を生成した画像と異なるサイズにする場合、生成した画像のサイズは変更せずに繰り返し表

示する場合にチェックする。

※繰り返しは左上が起点となる

#### 5.1.3.4 余白タブ (v1.03 以降)

元画像に対する余白の設定を行うタブ。



図 15 画像編集（余白タブ）画面

- ① 「マージン指定」ラジオボタン  
余白を元画像に対する差分で指定する場合にチェックする。  
※元画像より小さくすることも可能
- ② 「マージン指定」「上」入力欄  
余白を追加する際の元画像に対する上側のサイズを指定する。  
※負数可（元画像が小さくなる）
- ③ 「マージン指定」「下」入力欄  
余白を追加する際の元画像に対する下側のサイズを指定する。  
※負数可（元画像が小さくなる）
- ④ 「マージン指定」「左」入力欄  
余白を追加する際の元画像に対する左側のサイズを指定する。  
※負数可（元画像が小さくなる）
- ⑤ 「マージン指定」「右」入力欄  
余白を追加する際の元画像に対する右側のサイズを指定する。  
※負数可（元画像が小さくなる）
- ⑥ 「全体サイズ指定」ラジオボタン

余白を画像全体のサイズで指定する場合にチェックする。

※元画像は中央に表示

※元画像より小さくすることも可能

⑦ 「全体サイズ指定」「幅」入力欄

余白を画像全体のサイズで指定する際の幅を入力する。

⑧ 「全体サイズ指定」「高さ」入力欄

余白を画像全体のサイズで指定する際の幅を入力する。

⑨ 「背景画像に合わせる」ラジオボタン

余白を指定した背景画像に合わせて調整し、画像を余白に表示する場合にチェックする。

※背景画像の設定が必要

※元画像は中央に表示

⑩ 「背景画像」チェックボックス

余白に背景画像を表示する場合にチェックする。

⑪ 「全体サイズ指定」「画像設定」ボタン

余白に表示する背景画像の設定を行う。(背景画像画面を表示)

※余白を追加すると、「マージン指定」「全体サイズ指定」の項目の値が変更される。

### 5.1.3.5 設定メニュー（v1.03 以降）

画像編集画面の設定の保存及び読み込みを行うメニュー。



図 16 設定メニュー

① 「読み込み／保存」メニュー

画像編集画面の設定の読み込み／保存を行う場合にチェックされている。  
クリックで変更可能。ただし、ツール本体の設定は変更されない。

② 「共通部の読み込み」メニュー

画像編集画面の共通部の読み込みを行う場合にチェックされている。  
クリックで変更可能。ただし、ツール本体の設定は変更されない。

③ 「ファイル名」メニュー

画像編集画面の設定ファイルのファイル名をサブメニューに表示する。

④ 「ファイル名」「ファイル名」入力欄

画像編集画面の設定ファイルのファイル名を表示および変更する。  
ファイル名を変更した場合、ツール本体の設定は変更されない。

⑤ 「個別読み込み」メニュー

現在表示されているタブの設定を読み込む。

⑥ 「全体読み込み」メニュー

全てのタブの設定を読み込む。

※共通部を読み込む場合、ツール本体で優先設定されたタブの設定が読み込まれる

⑦ 「個別保存」メニュー

現在表示されているタブの設定を保存する。

⑧ 「全体保存」メニュー

全てのタブの設定を保存する。

※共通部の設定は、現在表示されている共通部の設定が、全てのタブの設定として保存される  
※共通部の設定をそれぞれ保存したい場合は、個別保存を各タブで実施すること

#### 5.1.3.6 一覧メニュー（v1.03以降）

画像編集画面で追加した編集枠の一覧を表示し、選択及び有効化／無効化を行うメニュー。

チェックがついているものが現状有効な（表示されている）編集枠。

文字色は編集枠の色と連動。

カッコ内は追加した番号。最前面／最背面へ移動した場合に順序が変わる。

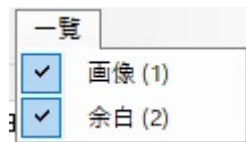


図 17 一覧メニュー

クリックで編集枠の選択を行う。（画像編集画面の表示が切り替わる）

ダブルクリックで有効／無効を切り替える

#### 5.1.4 背景画像画面（v1.03 以降）

背景画像を指定するための画面。背景色の付加や、画像の選択、画像の生成ができ、回転や繰り返し表示なども指定できる。

文字列の背景や余白の背景を指定時に使用する。



図 18 背景画像画面

- ① 「背景色のみ」ラジオボタン

背景画像として、色のみ付ける場合にチェックする。

- ② 「画像ファイル」ラジオボタン



背景画像として、画像ファイルを指定する場合にチェックする。

- ③ 「画像指定」「ファイル指定」ラジオボタン  
背景とする画像を指定する場合に選択する。
- ④ 「画像指定」「ファイル指定」入力欄  
背景とする画像のパスを入力する。  
※D&Dは不可。直接入力するか、⑤参照から選択する。
- ⑤ 「画像指定」「ファイル指定」参照ボタン  
背景とする画像を参照から指定する場合に押下する。
- ⑥ 「画像指定」「固定ファイル」ラジオボタン  
「sample」ディレクトリに格納されている画像を背景とする場合にチェックする。  
※頻繁に使用する画像を簡単に使用するためのもので、画像は提供していない。使用する場合は、  
ツールの実行ファイルがあるディレクトリに「sample」ディレクトリを作成し、画像ファイルを  
配置すること。
- ⑦ 「画像指定」「固定ファイル」コンボボックス  
「sample」ディレクトリに格納されている画像を選択する。
- ⑧ 「画像指定」「背景を透過」チェックボックス  
背景とする画像の背景を透過する場合にチェックする。  
※透過可能な色は単色のみ
- ⑨ 「画像指定」「背景を透過」「透過色」コンボボックス  
背景とする画像の背景を透過する場合に透過する色を選択する。
- ⑩ 「画像生成」ラジオボタン  
背景画像として、画像ファイルを指定する場合にチェックする。
- ⑪ 「画像生成」「サイズ：幅」入力欄  
「形」で選択した画像を生成する際の幅を指定する。
- ⑫ 「画像生成」「サイズ：高さ」入力欄  
「形」で選択した画像を生成する際の高さを指定する。
- ⑬ 「画像生成」「形」コンボボックス  
画像の形を選択する。  
※生成可能な画像の形は「表 11 生成可能な画像」を参照

- ⑭ 「画像生成」「塗色」 チェックボックス  
生成する画像を塗りつぶす場合にチェックする。
- ⑮ 「画像生成」「塗色」 コンボボックス  
生成する画像を塗りつぶす際の色を選択する。
- ⑯ 「画像生成」「縁色」 チェックボックス  
生成する画像に縁をつける場合にチェックする。
- ⑰ 「画像生成」「縁色」「色」 コンボボックス  
生成する画像に縁をつける際の色を選択する。
- ⑱ 「画像生成」「縁色」「縁の太さ」 入力欄  
生成する画像に縁をつける際の色を縁の太さを指定する。  
※浮動小数点での入力が可能。0 の場合は 1 で処理する。
- ⑲ 「画像生成」「余白」 入力欄  
生成する画像に余白を設ける場合に指定する。  
※上下左右に余白が付く
- ⑳ 「画像描画方法」「実サイズ」 ラジオボタン  
画像を実サイズで表示する場合にチェックする。  
※生成した場合は、生成時に指定したサイズ
- ㉑ 「画像描画方法」「指定サイズに拡大／縮小」 ラジオボタン  
画像を㉕㉖で指定したサイズに拡大／縮小して表示する場合にチェックする。
- ㉒ 「画像描画方法」「全体に拡大／縮小」 ラジオボタン  
画像を全体に拡大／縮小して表示する場合にチェックする。  
※余白の場合は、元画像＋余白のサイズ。文字列の場合は、文字列を描画した際の画像のサイズ。
- ㉓ 「画像描画方法」「比率」「固定」 ラジオボタン  
画像を拡大／縮小する際に、アスペクト比を考慮する場合にチェックする。
- ㉔ 「画像描画方法」「比率」「自由」 ラジオボタン  
画像を拡大／縮小する際に、アスペクト比を考慮しない場合にチェックする。
- ㉕ 「画像描画方法」「指定サイズ：幅」 入力欄  
指定サイズに拡大／縮小する際の幅を入力する。

- ②⑥ 「画像描画方法」「指定サイズ：高さ」入力欄  
指定サイズに拡大／縮小する際の高さを入力する。
- ②⑦ 「画像描画方法」「繰り返し」チェックボックス  
画像サイズと実際の描画領域のサイズが異なる場合に繰り返し表示する場合にチェックする。  
※繰り返しの起点は左上となる
- ②⑧ 「画像描画方法」「画像の透過率」入力欄  
背景画像を透過（透ける）する場合に値を変更する。  
指定範囲は、0（完全透過＝表示されない）～100（透過なし）。
- ②⑨ 「画像描画方法」「回転」チェックボックス  
背景画像を回転させる場合にチェックする。
- ③⑩ 「画像描画方法」「回転」「回転角度」入力欄  
背景画像を回転させる際の角度を指定する。  
指定範囲は、0（回転なし）～359度。
- ③⑪ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「重なり回避」ラジオボタン  
背景画像を回転させる際、画像が重ならないようにする場合にチェックする。  
※画像の対角線のサイズで回転するため、画像の間隔が空く。
- ③⑫ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「最小サイズ」ラジオボタン  
背景画像を回転させる際、画像が重ならない最小サイズで画像を描画する場合にチェックする。  
※指定した回転角度での画像を解析し、最小サイズを求めるため、処理に時間がかかる  
※回転角度により、画像の間隔が変わる  
※サンプル表示時及び編集枠の時に「サイズ補正」の値を更新
- ③⑬ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「サイズ補正」ラジオボタン  
背景画像を回転させる際、手動で画像のサイズを調整する場合にチェックする。  
※「重なり回避」、「最小サイズ」以外の画像間隔にする場合に使用
- ③⑭ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「サイズ補正：上」入力欄  
背景画像を回転させる際、手動で画像のサイズを調整する場合の上側のサイズを指定する。
- ③⑮ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「サイズ補正：下」入力欄  
背景画像を回転させる際、手動で画像のサイズを調整する場合の下側のサイズを指定する。
- ③⑯ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「サイズ補正：左」入力欄

背景画像を回転させる際、手動で画像のサイズを調整する場合の左側のサイズを指定する。

③⑦ 「画像描画方法」「回転時のサイズ」「サイズ補正：右」入力欄

背景画像を回転させる際、手動で画像のサイズを調整する場合の右側のサイズを指定する。

③⑧ 「背景色」「背景色」チェックボックス

背景画像に背景色をつける場合にチェックする。

※生成した画像、画像を透過した場合、回転時の余白などの背景色

※背景色がない場合、透過色となり、透過に対応していない画像フォーマットでは黒などになる

③⑨ 「背景色」「背景色」「色」コンボボックス

背景画像に背景色をつける際の色を選択する。

④⑩ 「サンプル画像」表示欄

④④を押下時に、現状の設定の背景画像を表示する。

④⑪ 「サンプル画像」「幅」入力欄

④⑩の④②を考慮したサイズ（幅）を表示する。

④⑫ 「サンプル画像」「高さ」入力欄

④⑩の④②を考慮したサイズ（高さ）を表示する。

④⑬ 「サンプル画像」「倍率」入力欄

④⑩の表示サイズの倍率を表示する。

※初期値はツールの設定画面で指定

④⑭ 「サンプル画像」「表示」ボタン

④⑩に現状の設定の背景画像を表示する。

④⑮ 「閉じる」ボタン

背景画像画面を閉じる。

※閉じた場合でも設定は引き継がれる

## 5.2 設定画面

メニューの設定から表示される設定画面。  
各種設定を変更する。

### 5.2.1 共通部

設定画面の共通部は以下の通り。

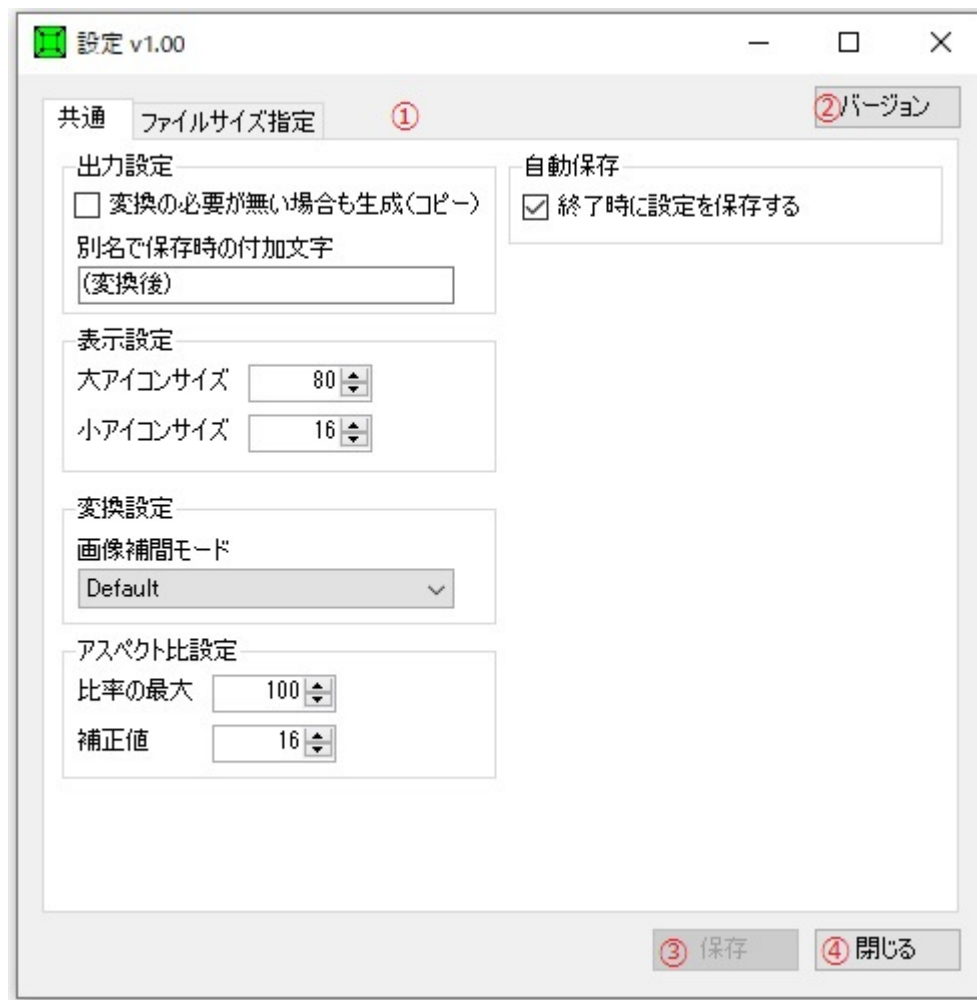


図 19 設定画面（共通部）

① 「タブ」

各設定を行うタブを選択する。  
タブの種類は、「共通」、「ファイルサイズ指定」。

② 「バージョン」 ボタン

バージョン画面を表示する。

③ 「保存」 ボタン

設定を保存する。

設定が変更された場合に活性となる。なお、メイン画面の変換内容を変更した際は活性にならない。

- ④ 「閉じる」ボタン  
設定画面を閉じる。

### 5.2.2 共通タブ

変換の種類に関連しない共通の設定を行う。

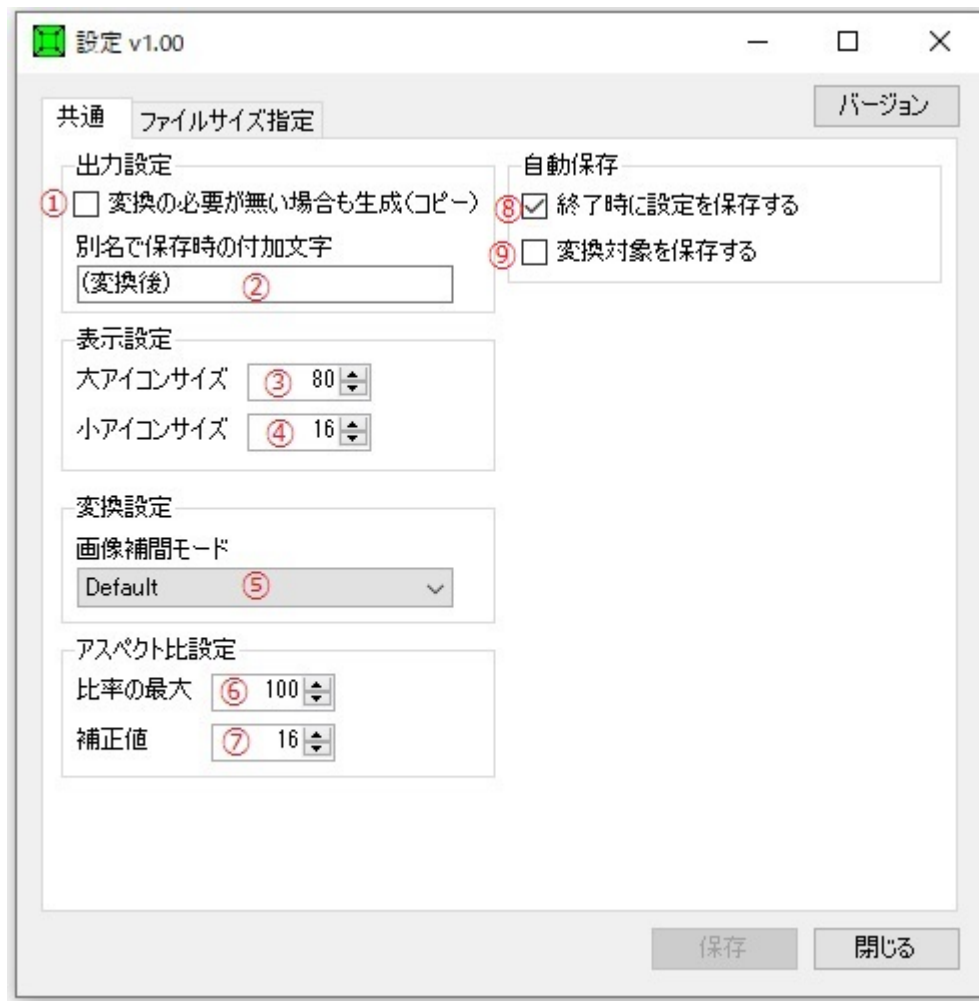


図 20 設定画面（共通タブ）

- ① 「出力設定」「変換の必要がない場合も生成（コピー）」チェックボックス  
変換を実施した際、変換の必要がないファイル（例、既にサイズが指定サイズ、縦揃え回転の縦長画像等）の場合、その画像ファイルを生成する場合にチェックする。  
別ディレクトリに画像ファイルを集める場合など、画像の漏れがあってはならない場合に使用。
- ② 「出力設定」「別名で保存時の付加文字」入力欄  
別名で保存する場合の付加文字を入力する。  
入力がない場合は「(1)」、「(2)」・・・の連番が付加される。  
なお、出力先が上書き、ディレクトリ指定の場合は無効。
- ③ 「表示設定」「大アイコン」入力欄  
大アイコン表示の場合に表示されるアイコンのサイズを入力する。  
※タイル表示の場合も使用される。

- ④ 「表示設定」「小アイコン」入力欄  
小アイコン表示の場合に表示されるアイコンのサイズを入力する。  
※詳細表示や一覧表示などでも使用される。
- ⑤ 「変換設定」「画像補間モード」コンボボックス  
画像サイズを変換する際、画素間を補完するモードを選択する。  
補間モードの種類を以下に示す。

表 12 画像補間モード

モード	
Bicubic	双三次補間
Bilinear	双一次補間
Default	既定の補間 (Bilinear?)
High	高品質補間
HighQualityBicubic	高品質双三次補間
HighQualityBilinear	高品質双一次補間
Low	低品質補間
NearestNeighbor	最近傍補間

補間モードは、使用目的や個人の好みによるため、ネットで「InterpolationMode」を検索。  
個人的には、NearestNeighbor はギザギザなので非推奨、High はボカシが緩くラインが一番くっきり見えるように感じる。

- ⑥ 「アスペクト比設定」「比率の最大」入力欄  
アスペクト比を求める際のアスペクト比の最大値を設定する。  
整数 2~の値でアスペクト比を求めており、処理の最大のループ回数となる。  
100 の場合、100 までに割り切れる値 (⑦補正值が設定されている場合、補正範囲内で一番近い値) をアスペクト比として使用する。
- ⑦ 「アスペクト比設定」「補正值」入力欄  
アスペクト比をとして、割り切れない幅や高さの画像の場合に、近似値を取得するための範囲を設定する。  
~~例えば、1601:901 の 16:9 の画像があった場合、割り切れず、それぞれ余りが 1 となる。この時、補正值 2 が設定されていると 16:9 として扱う。~~  
~~補正值 0~1 で範囲外となった場合は、単純に比率 (1601/901) で計算される。~~  
(v1.01 で算出方法変更。以下追記)  
比率で演算時の誤差として 0.00X が補正值として許可される。  
例えば、1601:901 の 16:9 の画像があった場合、 $901/(1601/16)=9.00437$  となり、補正值は 5 で範囲内となる。  
なお、使用されるのは切り取り範囲画面の元画像のアスペクト比表示のみ。その他はアスペクト比



を使わず、元画像もしくは指定したサイズで演算する方法に変更。

- ⑧ 「自動保存」「終了時に設定を保存する」チェックボックス  
ツールの終了時に、設定を自動的に保存する場合にチェックする。  
入力した内容をリストに追加する。
- ⑨ 「自動保存」「変換対象を保存する」チェックボックス（v1.01以降）  
設定を保存時に変換対象も保存し、次回起動時に対象を表示する場合にチェックする。

### 5.2.3 ファイルサイズ指定タブ

ファイルサイズ指定で画像サイズを変換する場合に使用する設定。

ファイルサイズを指定して変換する場合、ファイルを出力してサイズを取得し、幅、高さを調整するという、試行を数回繰り返し、指定サイズの画像ファイルを生成しているため、その条件などを設定する。

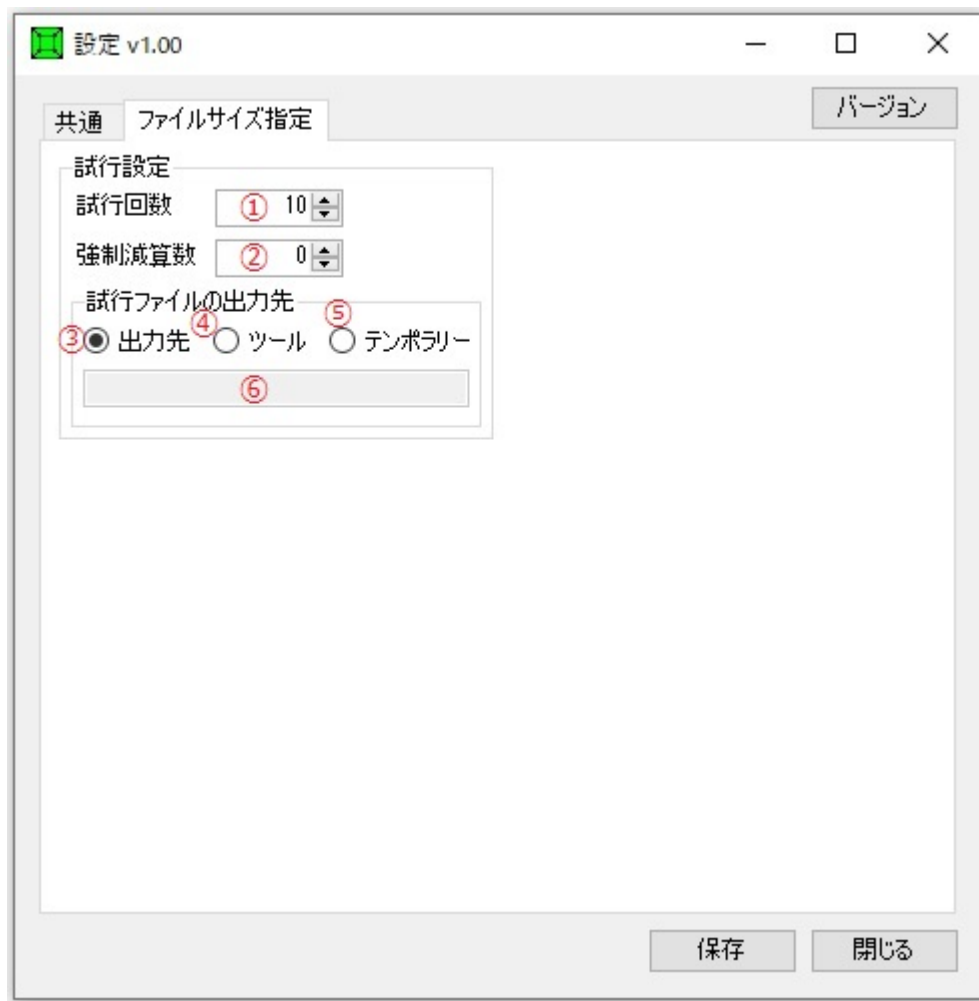


図 21 設定画面（ファイルサイズ指定タブ）

① 「試行設定」「試行回数」入力欄

試行回数の上限を設定する。

なお、試行回数を実施しても指定したファイルサイズとならない場合はエラー扱いとなる。

試行回数を増やしてもエラーとなる場合は、②強制減算数の調整が必要。

何度か試した結果として、②強制減算数が 0 の場合、3 回程度の試行が実施される。

② 「試行設定」「強制減算数」入力欄

試行時に強制的に少なくする幅／高さの量を設定する。

エラーとなる場合の回避や試行回数を減らすことが可能。

ただし、指定した値によっては指定したファイルサイズより大幅に小さくなる可能性がある。

③ 「試行設定」「試行ファイルの出力先」「出力先」ラジオボタン

試行ファイルの出力先を、変換後のファイルの出力先と同じとする場合にチェックする。

なお、試行ファイルのファイル名は、拡張子が「.tmp」となり、変換完了時に名前が変更される。

④ 「試行設定」「試行ファイルの出力先」「ツール」ラジオボタン

試行ファイルの出力先を、ツールのあるディレクトリとする場合にチェックする。

変換完了時にファイルが移動される。

⑤ 「試行設定」「試行ファイルの出力先」「テンポラリー」ラジオボタン

試行ファイルの出力先を、⑥のディレクトリとする場合にチェックする。

変換完了時にファイルが移動される。

⑥ 「試行設定」「試行ファイルの出力先」「テンポラリー」入力欄

試行ファイルの出力先のディレクトリを設定する。

設定がない場合は、③出力先となる。

※D&D 可

#### 5.2.4 手動カットタブ (v1.01 以降)

画像を手動で切り出す場合に表示される切り取り範囲画面の設定を行う。

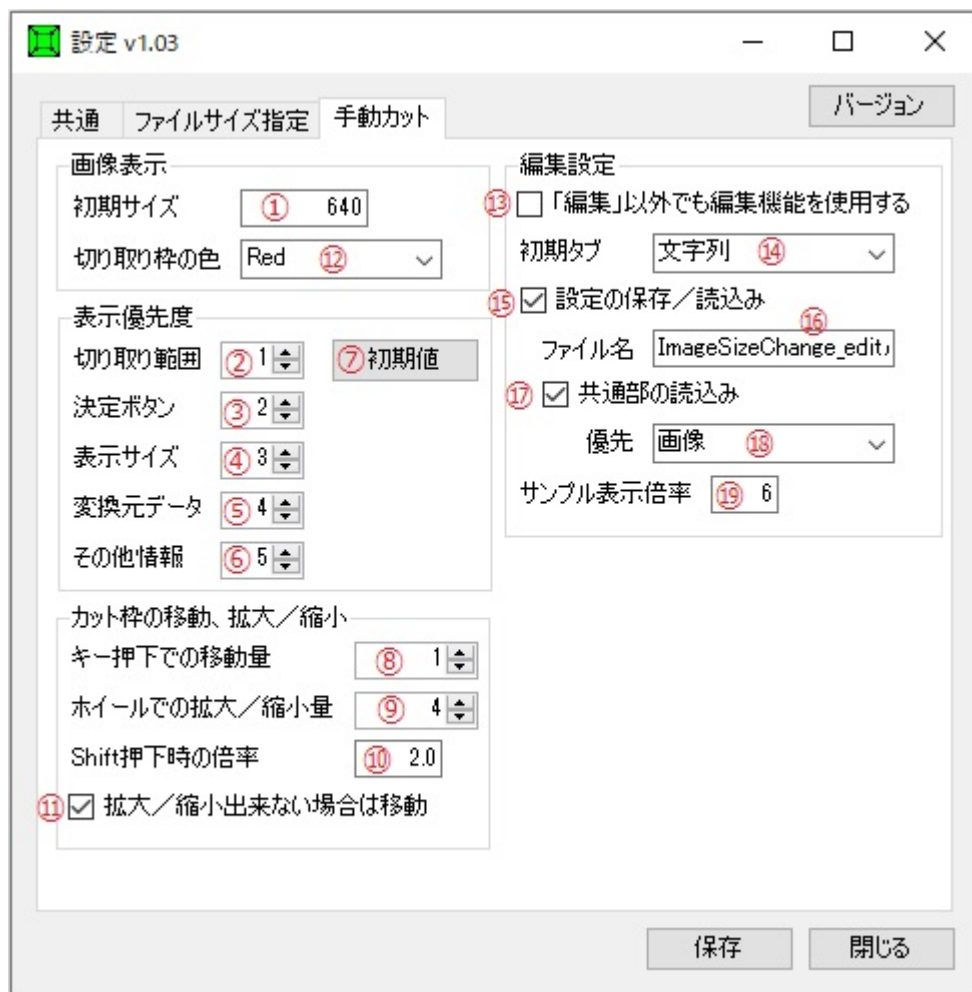


図 22 設定画面（手動カットタブ）

① 「画像表示」「初期サイズ」入力欄

切り取り範囲画面に表示する画像のサイズ（縦横で大きい方の値）を入力する。

※表示後にサイズの変更は可能

② 「表示優先度」「切り取り範囲」入力欄

③ 「表示優先度」「決定ボタン」入力欄

④ 「表示優先度」「表示サイズ」入力欄

⑤ 「表示優先度」「変換元データ」入力欄

⑥ 「表示優先度」「その他情報」入力欄

切り取り範囲画面に表示される入力欄／情報の優先度を指定する。

1 が最優先となり一番上に表示される。有効値は 5 までとなり、同じ番号が指定されている場合は、上に記載されているものが優先（上に表示）される。なお、0 を指定すると非表示となる。

⑦ 「表示優先度」「初期値」ボタン

優先度を初期値に戻す場合に押下する。

- ⑧ 「カット枠の移動、拡大／縮小」「キー押下での移動量」入力欄  
カット枠を矢印キーで動かす場合の移動量を指定する。
- ⑨ 「カット枠の移動、拡大／縮小」「ホイールでの拡大／縮小量」入力欄  
カット枠をマウスのホイールで拡大／縮小する場合のサイズを指定する。
- ⑩ 「カット枠の移動、拡大／縮小」「Shift 押下時の倍率」入力欄  
Shift キーを押下時の、矢印やマウスのホイール操作をした際の変化量の倍数を指定する。
- ⑪ 「カット枠の移動、拡大／縮小」「拡大／縮小できない場合は移動」チェックボックス  
縦横の片方が最大となっている状態で、マウスのホイール操作した場合、カット枠をその方向に移動させる場合にチェックする。
- ⑫ 「画像表示」「切り取り枠の色」コンボボックス (v1.03 以降)  
切り取り枠の色を選択する。
- ⑬ 「編集設定」「[編集] 以外でも編集機能を使用する」チェックボックス (v1.03 以降)  
メイン画面の「変換設定」「サイズ」「編集」以外で変換時、切り取り画面を使用する際、編集機能を使用する場合にチェックする。  
※編集機能をオフにすると、切り取り画面の起動時間やメモリの使用量が削減される。
- ⑭ 「編集設定」「初期タブ」コンボボックス (v1.03 以降)  
編集画面を表示時（初回のみ）に、表示されるタブを選択する。
- ⑮ 「編集設定」「設定の保存／読み込み」チェックボックス (v1.03 以降)  
編集画面の状態を保存、読み込みする場合にチェックする。
- ⑯ 「編集設定」「設定の保存／読み込み」「ファイル名」入力欄 (v1.03 以降)  
編集画面の状態を保存、読み込みする場合にチェックする。  
※編集画面の状態は、ツール本体の設定とは別ファイルとして保存される。
- ⑰ 「編集設定」「設定の保存／読み込み」「共通部の読み込み」チェックボックス (v1.03 以降)  
編集画面の共通部を保存、読み込みする場合にチェックする。
- ⑱ 「編集設定」「設定の保存／読み込み」「共通部の読み込み」「優先」コンボボックス (v1.03 以降)  
編集画面の共通部を読み込む際に、優先するタブを選択する。
- ⑲ 「編集設定」「サンプル表示倍率」入力欄 (v1.03 以降)

編集画面で背景画像のサンプルを表示する際の倍率を入力する。

### 5.3 バージョン画面

メイン画面の「バージョン」メニュー、設定画面の「バージョン」ボタンから起動する。  
現バージョンの表示や最新バージョンの表示、最新ファイルのダウンロードを行う。

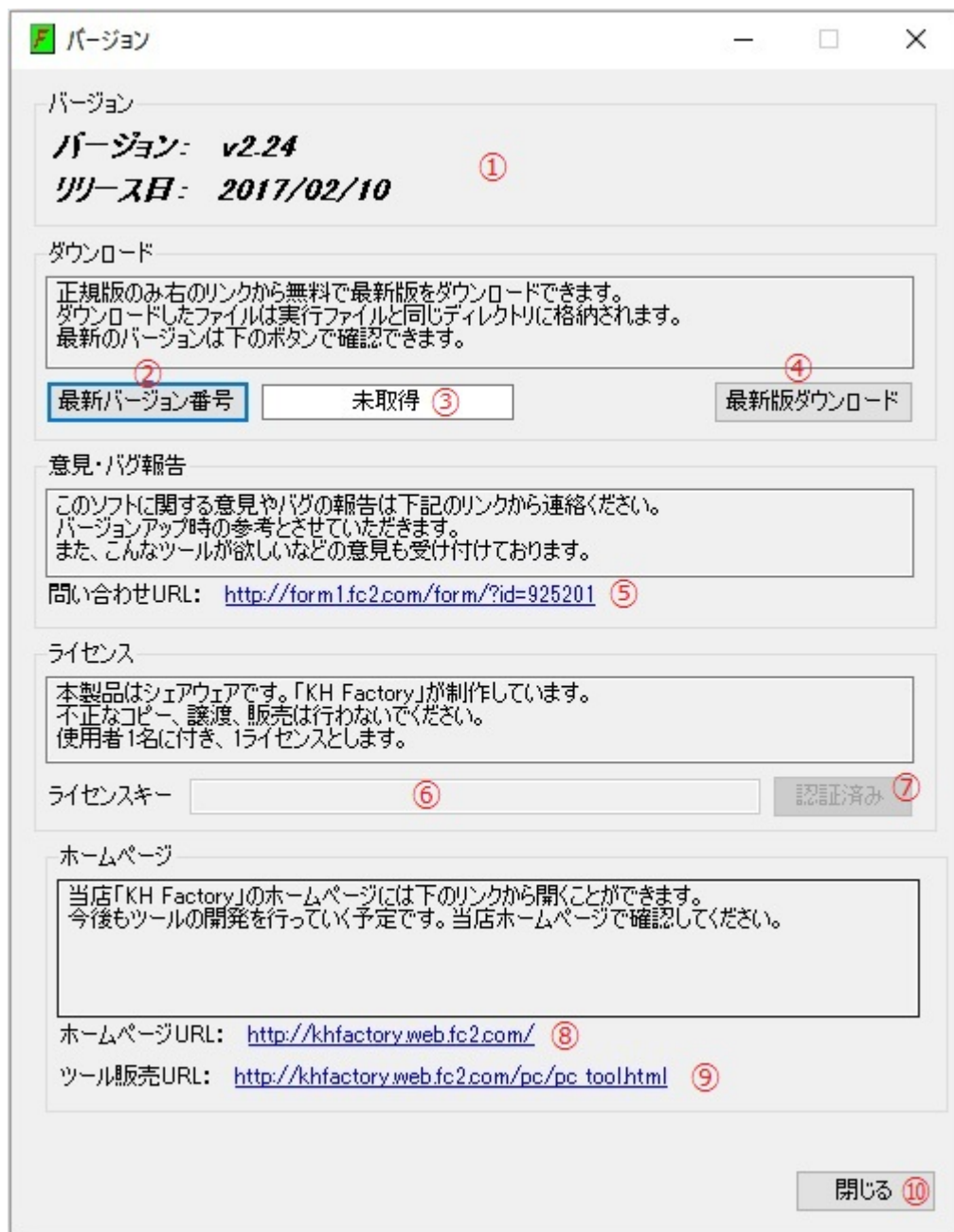


図 23 バージョン画面

- ① 「バージョン」  
起動しているツールのバージョン番号とリリース日を表示する。
- ② 「ダウンロード」「最新版バージョン番号」ボタン  
最新版バージョン番号をネット経由で取得し、最新版バージョン番号表示欄に表示する。

- ③ 「ダウンロード」 最新バージョン番号表示欄  
取得したバージョン番号を表示する。
- ④ 「ダウンロード」「最新版ダウンロード」 ボタン  
最新版をネット経由でダウンロードする。最新版が使用されている場合はダウンロードするか確認される。  
実行場所にバージョンを問わず同名 (ImageSizeChange\_NewVer.zip) の圧縮ファイルが保存されるため、旧バージョンのファイルがある場合は上書きの確認をされる。  
最新バージョンでは不具合がある可能性があるため、旧バージョンの保存を推奨。
- ⑤ 「意見・バク報告」 問い合わせ URL  
「お問い合わせフォーム」 のリンク。  
※ウェブブラウザは Windows 設定に依存 (注 1)
- ⑥ 「ライセンス」 ライセンスキー入力欄  
ライセンスキーを入力する。  
ライセンスキーの登録が完了すると非活性となる。
- ⑦ 「ライセンス」「登録」 ボタン  
ライセンスキーを登録する。  
ライセンスキーの登録が完了すると「認証済み」となり、非活性となる。
- ⑧ 「ホームページ」 ホームページ URL  
「KH Factory」 のホームページのリンク。  
※ウェブブラウザは Windows 設定に依存 (注 1)
- ⑨ 「ホームページ」 ツール販売 URL  
「KH Factory」 のホームページのツール販売へのリンク。  
※ウェブブラウザは Windows 設定に依存 (注 1)
- ⑩ 「閉じる」 ボタン  
バージョン画面を閉じる。



## 6 注釈説明

本書内で記載した注釈について説明を記載する。

### 6.1 （注 1）Windows 設定に依存について

実行や表示は **Process.Start** 処理に任せている。

その為、ユーザがファイルの関連付けなどを変更すると起動されるツールも異なる。

一般的に起動されるツールは以下の通り。

表 13 起動ツール

実行対象	起動ツール
ディレクトリ	エクスプローラー
テキストファイル	メモ帳などのユーザが定義したエディタ
動画ファイル	Media Player などのユーザが定義した動画再生ソフト
URL	インターネットエクスプローラーや Edge などのユーザが定義したウェブブラウザ
メールアドレス	Outlook などのユーザが定義したメーラー
etc.	

## 7 あとがき

### 7.1 バグを発見した場合

基本動作の確認はしておりますが、潜伏バグが残っている場合やデグレート（バグ対応により既存部分が壊れる）が発生する場合があります。

ご連絡いただければ順次対応しバージョンアップしますので、下記お問い合わせフォームにてご連絡をお願いいたします。

### 7.2 ご意見・ご要望

使い勝手を良くするためのバージョンアップを重ねております。

このツールに対するご意見、ご要望がありましたらお問い合わせフォームよりご連絡をお願いいたします。

また、「こんなツールがあると便利」というような意見もありましたらご連絡下さい。

### 7.3 各種 URL

ホームページに、他のツールも載せております。ご参考いただけると幸いです。

ホームページ：<http://khfactory.web.fc2.com/>

ツール販売：[http://khfactory.web.fc2.com/pc/pc\\_tool.html](http://khfactory.web.fc2.com/pc/pc_tool.html)

お問い合わせフォーム；<http://form1.fc2.com/form/?id=925201>

※バージョン画面にも同リンクが張られております。

マニュアルをご覧くださいありがとうございました。

## 8 更新履歴

日付	バージョン	説明
2020/09/01	1.00	マニュアル初版作成
2020/09/21	1.01	画像の切り取りの手動制御を追加 アスペクト比の算出方法変更
2021/04/18	1.02	「固定サイズ：自動」の際に、片方の設定ででの実行を保証する
2021/09/08	1.03	画像の編集機能（画像、文字列、モザイク、余白）を追加 メイン画面の一覧にコンテキストメニューを追加 空画像の生成機能を追加 上書き時、実行確認を追加、元ファイルをゴミ箱に移動する方式に変更